

FUND REVIEW REPORT

ファンド・レビュー・レポート 2025

評価基準日：2025年3月末

CEOメッセージ

「お客様本位の業務運営」のために

野村アセットマネジメントは、お客様の資産形成に貢献し、「世の中の役に立つ」資産運用会社になることを目指しています。

資産運用立国実現プランによる具体的な施策が実行段階に移る中、資産運用業界では、「お客様本位の業務運営」の重要性が一層高まっています。当社は業界に先駆けて、プロダクトガバナンスの高度化・全社的推進に取り組んでまいりました。プロダクトガバナンスは、お客様の安定的な資産形成を実現する上で不可欠な枠組みと考えています。

2024年8月には、プロダクトガバナンスに関する基本方針を新たに策定し、全社的な取り組みの更なる強化と明確化を図りました。外部有識者による「プロダクトガバナンス有識者会議」から得られた助言も活用することで、レポートの内容にとどまらずプロダクトガバナンスに係る取り組み全般の公正性・透明性・実効性の強化に努めています。

ファンド・レビュー結果に基づく改善活動も強化しています。2025年6月には、「ノムラ日本株戦略ファンド（Big Project-N）」の他の投資信託への実質的な併合を実施しました。当ファンドは過去のレポートにおいて改善すべき点が認められており、改善の取り組みを継続してまいりましたが、早期の品質改善を第一に考え、お客様に十分な付加価値をお届けできるよう、抜本的な変更を実施したものです。

今後も商品のライフサイクルを通じてプロダクトガバナンスを徹底し、お客様の最善の利益を追求してまいります。本レポートを通じて、お客様への説明責任を果たしながら、更なる価値向上を追求し、今後も一層お客様の利益に資する商品・サービスの提供に取り組んでまいります。

2025年11月
CEO兼代表取締役社長
小池 広靖

Contents

目次

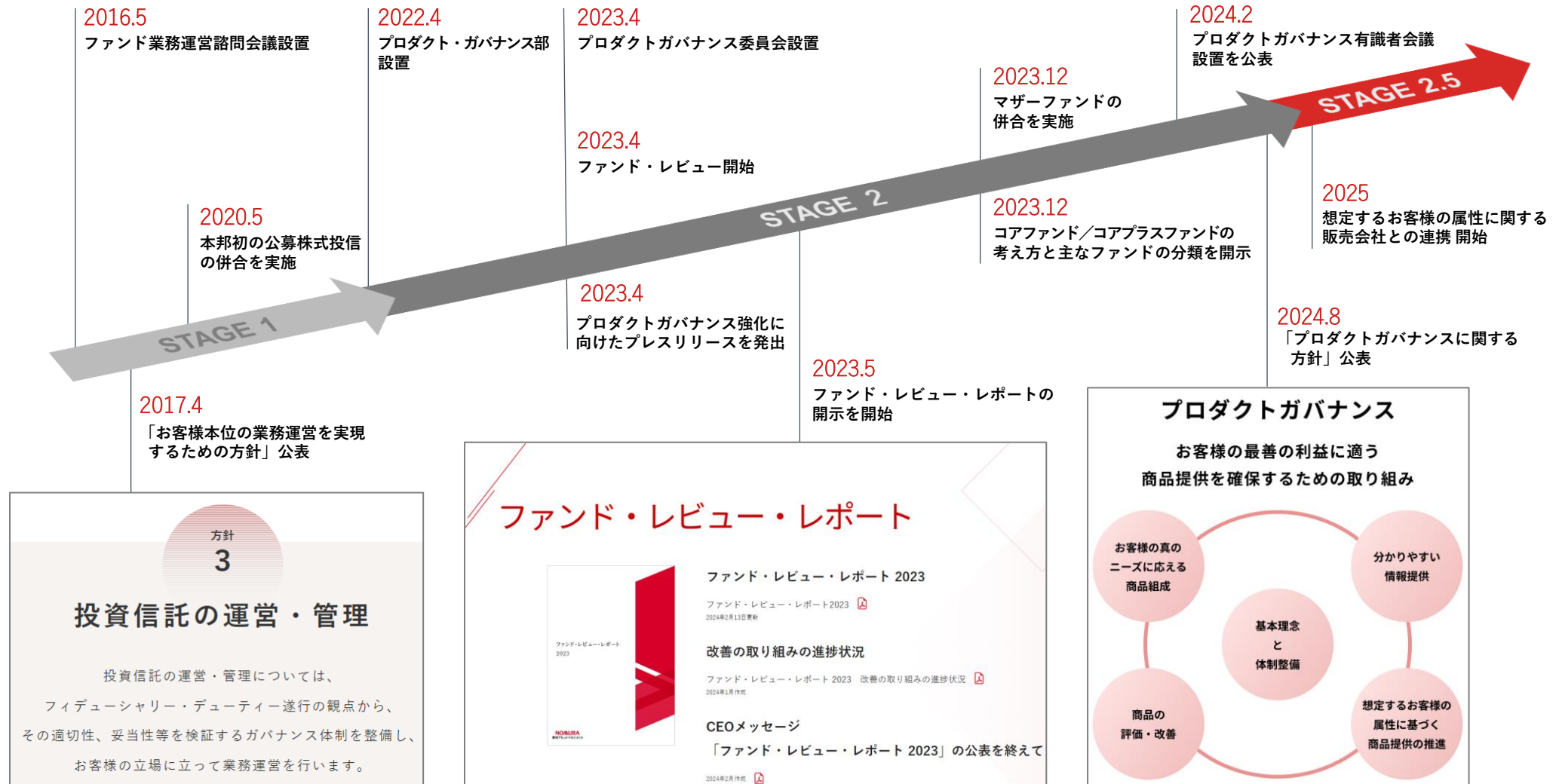
プロダクトガバナンスの枠組み

プロダクトガバナンス強化に向けた歩み	<u>P. 3</u>
プロダクトガバナンス方針	<u>P. 4</u>
プロダクトガバナンス体制	<u>P. 5</u>
ファンド・レビューの目的と考え方	<u>P. 6</u>
ファンド・レビューの評価方法	<u>P. 7</u>
ファンド・レビューに基づく改善活動	<u>P. 9</u>

ファンド・レビューの結果

結果のサマリー	<u>P. 10</u>
アクティブファンド	<u>P. 12</u>
インデックスファンド	<u>P. 37</u>
外部委託ファンド	<u>P. 46</u>

プロダクトガバナンス強化に向けた歩み



プロダクトガバナンス方針

方針1

基本理念

当社は、お客様のニーズに対応した商品、最良のパフォーマンスとサービスを提供することこそ、資産運用ビジネスの本質であり、私たちの使命であると考え、その旨を企業理念中においても謳っています。

かかる理念に則り、お客様の最善の利益を実現するため、お客様の真のニーズに応える商品づくりを行い、個々の商品のライフサイクルの中で絶えずその品質向上を推進し、お客様ひとりひとりにふさわしい商品を提供するべく、お客様の最善の利益に合う商品提供を確保するための取り組み（プロダクトガバナンス）を徹底してまいります。

また、資産運用ビジネスにおけるプロダクトガバナンスを深化させることにより、投資の好循環を促し、より多くのお客様の健全な資産形成に貢献してまいります。

方針2

プロダクトガバナンス体制

当社は、プロダクトガバナンスの実効性を確保するための体制を整備します。

- お客様に適切に商品提供を行うために経営会議の下に商品委員会を設け、投資信託、投資一任及び投資顧問サービス等の金融商品の設定時における検討、商品の品質向上に向けた検討、適切な商品ラインアップの構築及び維持など、広く商品戦略に関わる事項について意思決定を行います。
- また、商品委員会を経て組成された金融商品については、プロダクトガバナンスを専門に担う部署が事務局となるプロダクトガバナンス委員会を設け、運用パフォーマンスを含むお客様が享受する価値に基づく分析、評価及び管理を通じて統制強化を図ります。
- さらに、投資信託の運営・管理に係る利益相反の管理については、独立の立場にある者が過半数を占めるファンド業務運営諮問会議を監査等委員会の下に設け、フィデューシャリー・デューティー遂行の観点から検証を行うことにより、お客様の利益が不当に損なわれることを防止します。
- 加えて、プロダクトガバナンスに係る取り組みの公正性、透明性を確保し、より実効的なものにするを目的として社外の有識者で構成されるプロダクトガバナンス有識者会議を設置し、そこで得られた助言、講評を踏まえて取り組みの更なる高度化を図ります。

方針3

金融商品の組成

当社は、金融商品の組成にあたり、あらかじめ想定するお客様の属性を明確にするとともに、当該お客様の真のニーズを想定した上で、組成する金融商品の商品性がそれに合致することを、商品の持続可能性や合理性等と併せて商品委員会において確認します。

金融商品の組成時の評価、検証の着眼点

- 中長期的に提供可能な金融商品であるか
- お客様の利益が十分に確保される期待収益と信託報酬水準の関係にあるか
- パフォーマンスを長期にわたり継続的に創出できる運用体制であるか

方針4

金融商品の評価・改善等

当社は、組成後の金融商品について、お客様目線を取り入れた検証、評価を行います。評価結果に基づき、更なる品質の向上やプロセス等の改善を促します。それらの結果も踏まえ、期待する役割や目的の実現が困難と判断した金融商品については、報酬の見直しや償還、併合等を進めます。

金融商品の組成後の評価、検証の着眼点

- コスト控除後リターンの達成度とリスク水準の妥当性
- 提供するサービス（DC、NISAなど）に適した投資期間、資産規模であるか
- お客様が期待する商品性と提供した運用内容（プロセス）が整合的であるか

方針5

想定するお客様の属性に関する販売会社との連携

当社は、組成する金融商品ごとに想定するお客様の属性を販売会社に伝達することにより、金融商品の想定するお客様への提供を推進します。さらに、特定のニーズがあるお客様向けの商品については、理解を促進するための施策を講じるほか、特定のお客様向けの商品については、販売会社との間で販売に関する情報（個人情報を除きます）の連携に努めます。受け取った情報は、より良い金融商品をお客様に提供するために活用します。

方針6

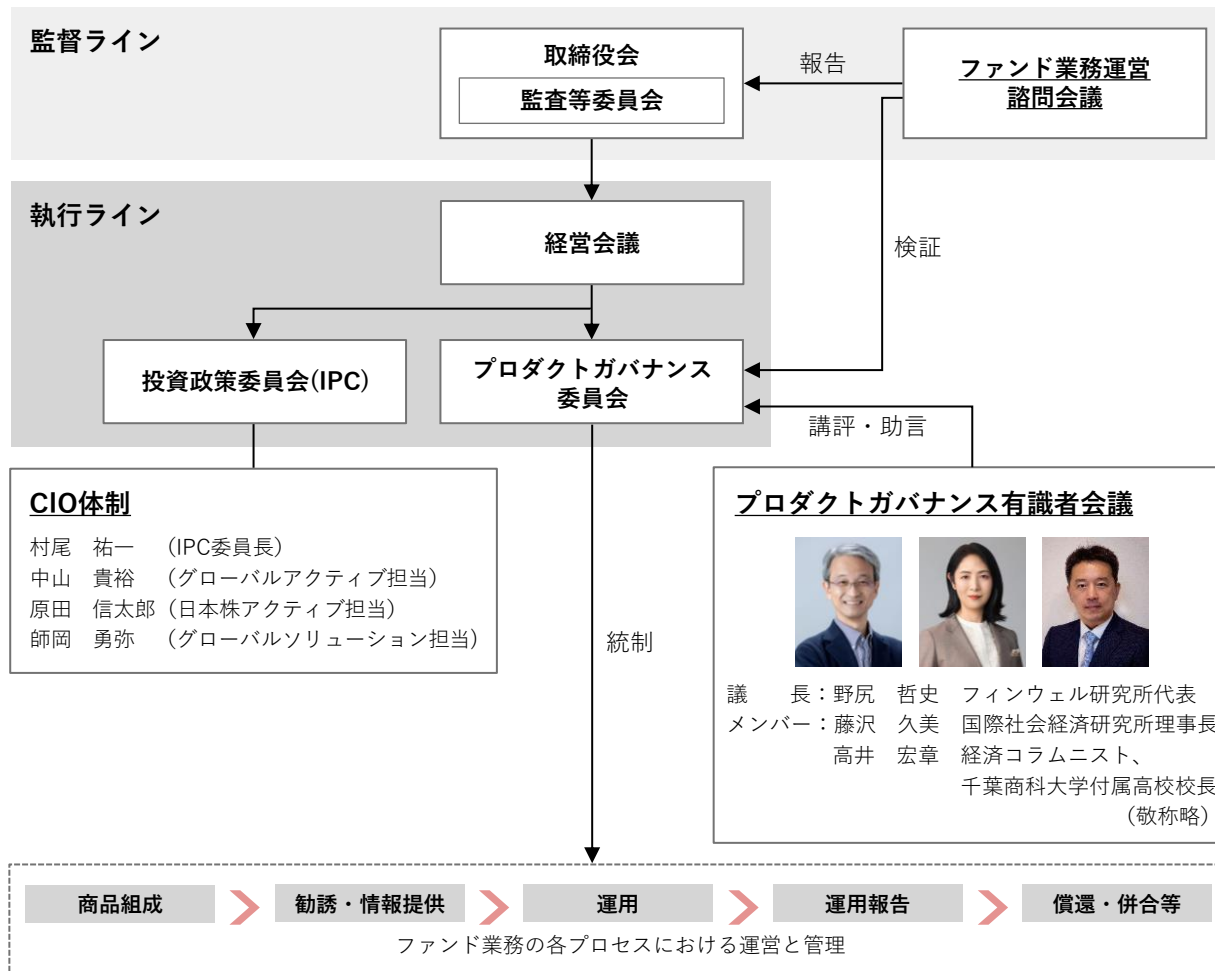
分かりやすい情報提供

当社は、お客様に十分な情報をもとにより良い金融商品を選択いただけるようにするために、ホームページにおいてグローバルな運用体制や組成する商品ごとに想定するお客様の属性を分かりやすさに配慮して開示します。

また、ファンド・レビューの結果やそれを受けた改善状況をまとめたレポート、プロダクトガバナンスを実施する体制やプロダクトガバナンス有識者会議で得られた助言の主な内容を公表することにより、プロダクトガバナンスに係る取り組みの一層の透明性の向上を図ります。

プロダクトガバナンス体制

当社は、プロダクトガバナンスに関する体制を整備し、プロダクトの品質の維持・向上を図ってまいりました。近年では、プロダクトの組成・償還・運用管理、勧誘・開示を統合したガバナンスを担う「プロダクトガバナンス委員会」の設置やプロダクトガバナンスに係る取り組みの公正性、透明性を確保し、より実効的なものにするを目的として、社外の独立した有識者で構成される「プロダクトガバナンス有識者会議」を設置しました。当会議メンバーの中立的立場からの講評・助言を活かし、「お客様本位の業務運営」の更なる推進を目指しています。



ファンド・レビュー評価はファンド業務運営諮問会議に報告されるなど、ファンド・レビューと改善活動については、現場の取り組みだけではなく、経営陣が関与することによって、実効性を高める体制を取っています。

顧客の最善の利益と顧客属性

2016年、顧客本位の7原則を審議する金融審議会市場ワーキング・グループで「顧客の最善の利益とは何か」が議論されました。「単なる経済的な利益だけではない」との指摘も出されるなど印象的な議論でしたが、そこにこそプロダクトガバナンスの根本があるように思いました。

いろいろなタイプの消費者がいることから、金融商品やサービスが提供しようとする「利益」は、すべての消費者にとって一律に「最善な利益」とはなりません。例えば、分配金は、デメリットになる現役世代もいれば、取り崩しの選択肢として受け入れる退職世代もあります。

だからこそ提供する便益が、どんな「顧客属性」を持つ消費者に「最善の利益」をもたらすのかを見極めることは重要で、その属性を持った顧客が「想定顧客」となるのです。「想定顧客」は、その金融商品・サービスに関する「哲学、方針、目的に賛同してくれる投資家」といってもいいでしょう。それを明確にすることが、プロダクトガバナンスの第一歩ではないでしょうか。

消費財の市場では、消費者が持つ多様な潜在的ニーズを探り出し、それを顕在化させる商品コンセプトを作りだし、消費者の共感を得るアプローチをとっています。金融商品でも同様に「顧客の最善の利益」を探り出し、それを提供する商品・サービスを市場に送り出すといったマーケット・インの考え方が必要になると思います。

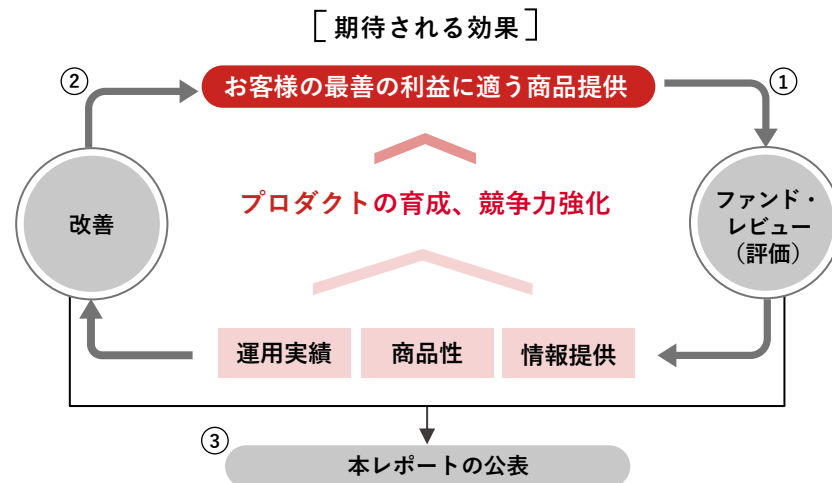
プロダクトガバナンス有識者会議 議長：野尻 哲史

ファンド・レビューの目的と考え方

ファンド・レビューの目的は、**お客様の最善の利益に適う商品提供を実現すること**です。

ファンド・レビューを起点として、以下の一連の取り組みを繰り返していくことにより、ファンドの品質改善を図り、お客様の最善の利益に適う商品提供を達成することを目指します。

- ① **お客様の利益の観点からファンド・レビュー**を行います。
- ② ファンド・レビュー結果に基づき、**お客様の最善の利益に適う商品提供に向けた改善**に取り組みます。
- ③ **ファンド・レビューの結果およびファンドの改善活動を公表**することを通じて、透明性の向上と当社の取り組みに対する牽制効果によって、実効性の確保を図ります。



本レポートは当社ファンドの受益者であるお客様も含む当社のすべてのステークホルダーに向けて公表しています。内容等についてご不明な点があれば下記の照会先までお問い合わせください。

<照会先>野村アセットマネジメント株式会社

📞 サポートダイヤル 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

基本的な考え方

- 「お客様の最善の利益に適う商品提供」およびそのための「プロダクトの育成、競争力強化」を目的として、お客様目線を取り入れた評価を行います。
- ファンド・レビューはお客様が投資を検討するときから、投資期間中、売却・償還するまで当社が提供する一連のサービスを対象とします。
- 「運用実績」、「商品性」、「情報提供」の3つの観点から評価します。



運用実績

信託報酬等のコストを控除したパフォーマンスが、競争力のある水準となっているか。



商品性

長期的な資産形成に資するか。期待収益および運用実績に合った適正な信託報酬水準か。お客様のニーズに適合しているか。



情報提供

投資判断や運用状況の把握に資する適切な情報を提供できているか。分かりやすさに配慮できているか。

- ファンドごとに各評価項目について、3段階で評価を付与します

R (Red、赤)	改善すべき点が認められます。
Y (Yellow、黄)	改善を検討すべき点が認められます。
G (Green、緑)	価値提供に向けた取り組みが認められます。
NR (Not Rated)	評価対象外です。

- Red (赤) 評価となった場合は、該当項目について改善を図り、改善の取り組みの進捗状況をお客様に開示いたします。
- 改善の取り組みにも関わらず、Red (赤) 評価が継続するなど改善の成果がみられないため、ファンドのスキームの変更や、運用の外部委託の変更や、繰り上げ償還といった、更なる対応を行うことが決定され、実行している場合には、評価の印に黒枠（記載例：**Ⓜ**）を付けて表記します。

ファンド・レビューの評価方法

運用実績

複数の外部評価機関（Fundmarkレーティング、および、Morningstar Ratings）における3年、5年、10年の商品分類ごとの競合比による評価を参考として、運用戦略ごとに評価を行います。

※2025年3月末を基準としたものです。

		5年、10年の評価の低い方			
		上位	中位	下位	下位（劣後）
3年	上位	G	G	G	Y
	中位	G	G	G	Y
	下位	G	G	Y	R
	下位（劣後）	Y	Y	R	R

個々のファンドの評価について、3年、5年、10年の各期間毎に「上位」 / 「中位」 / 「下位」に分類し、さらに「下位」の中でも競合比で特に劣位のものについては「下位（劣後）」とします。短期は3年の評価を、長期は5年と10年の評価の低い方を参考にして、長期の評価が劣後する水準にあり十分な改善傾向が認められない場合、および、長期の評価が「下位」の水準にあり短期で更に悪化している場合、当該ファンドを Red（赤）とします。

- 運用方針が実質的に同じであり投資行動が共通するファンドは、決算頻度や分配方針、通貨コースなどに違いがあっても同一の運用戦略にもとづいて運用される同種ファンドとして扱います。

- 投資行動とは直接関係のない要因から切り離して評価するために、同種ファンドの中から選ばれた代表ファンドの評価結果を運用戦略の評価として開示します。

- 同種ファンドのうち、信託報酬率が高いもの、運用期間が長いもの、決算頻度が少ないもの、純資産総額が多いもの、為替ヘッジが付与されていないものなどを優先して、代表ファンドを選定しています。

- 運用戦略におけるすべてのファンドが評価対象外となった場合に、その運用戦略の運用実績評価をNR（Not Rated；評価対象外）と表示します。

- 代表ファンド以外のファンドの運用実績の評価は「－」と表示します。

- 運用開始から3年未満のファンド、インデックスファンドや定められたルールに従って運用するファンド、マネーファンドに類似するファンド、外部評価機関のレーティングが付与されていないファンドを評価対象外としています。

※外部評価機関の商品分類による競合比では下位・下位（劣後）となるものの、Yellow（黄）評価・Red（赤）評価としての評価が適切でないファンド（1本）も評価対象外としています。

※評価項目、評価内容は今後変更する場合があります。

ファンド・レビューの評価方法

商品性の評価方法

商品性については、「経費率」、「投資家の平均保有期間」、「定性評価」を用いて総合的に評価を行います。運用開始から1年未満のファンド、また比較する他社の同類ファンドが無いファンドを評価対象外としています。

経費率 (信託報酬を含む)	同分類のファンドの経費率と比較して高くなっていないか (当社の経費率は総経費率を用いて計算)
平均保有期間	投資家の平均保有期間※が相対的に著しく短期になっていないか (長期的な資産形成に活用されているかの確認)
定性評価	運用方針に沿った運用が困難な商品特性となっていないか

※ 平均保有期間（平均投資年数）＝年間平均残高÷年間解約額

当該数値は、計算式の特性上ファンドの運用期間を上回る場合があります。

また、上記の計算式に基づく平均保有期間だけでなく、各ファンドの設定来の設定額・解約額に基づく保有期間の推計も併せて行い、評価を実施しています。

情報提供の評価方法

情報提供については、お客様が商品を検討する際に必要となる情報や投資期間中の開示情報が、十分に理解できるような情報になっているかどうかを、以下の観点を含めて総合的に評価を行います。

商品性に依じて投資家にとって重要と考えられる内容が適切に開示されているか

商品・サービスに関する情報が適時適切に開示されているか

サポートダイヤルなどを通じたお客様の苦情・要望等に適切に対応が行われているか

ESG ファンドにおいて、ESGに関する開示が十分に行われているか

ファンド・レビューに基づく改善活動

ファンド・レビューによって、改善点が見つかったファンドについては、評価対象業務の各担当部署の改善活動だけではなく、評価を担う管理部署および経営陣が関与して、当社を挙げて改善に取り組めます。

- ファンド・レビュー結果がRed（赤）評価となったファンドについては、各担当部署だけではなく、管理部署が関与して、課題を特定し、改善案を策定します。
- 改善案については、当社CEOをはじめとする経営陣で構成されるプロダクトガバナンス委員会で審議され、決定されます。
- 改善策の実施状況については、管理部署によってモニタリングされ、経営陣に報告されます。

ファンド・レビュー結果

R Red（赤）評価

- 管理部署によって評価



課題の特定と改善策の策定

- 業務の担当部署だけではなく、管理部署も関与



改善策の決定

- 当社経営陣による改善策の審議、決定



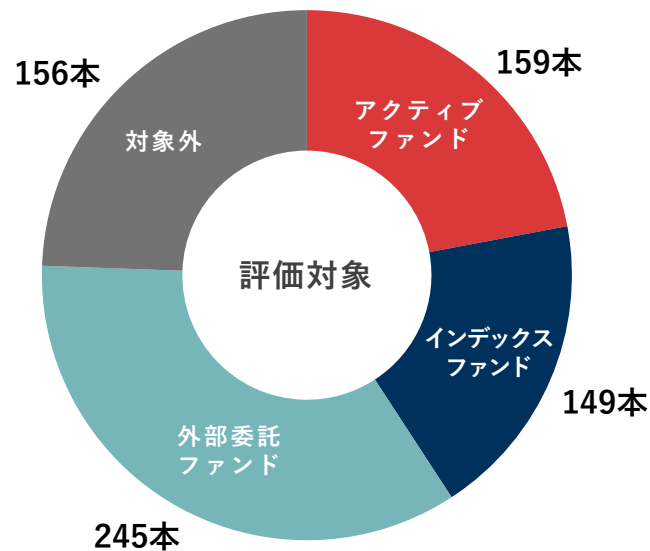
改善策の実行とモニタリング

- 業務担当部署による改善策の実行
- 管理部署によるモニタリング
- 当社経営陣に報告

ファンド・レビューの評価

評価対象

「アクティブファンド」、「インデックスファンド」、「外部委託ファンド」という3つに分類し、2025年3月末時点の当社の公募投資信託を対象として、評価・開示を行います※1,2。ファンド・レビューの対象となったファンド553本（248戦略）の内訳は以下の通りです。Red（赤）評価、Yellow（黄）評価のファンドについては、個別ファンドのページで課題とその対応についてご説明します。



※1 上場投資信託（ETF）、MRF、マネーブール型ファンド、運用開始から1年未満のファンド、2025年度内に償還する予定のファンドやファンドラップ専用ファンドを評価対象外とします。

※2 ファンドラップの開示については、サービス全体のガバナンスの枠組みを考慮する必要があるため、複数ファンドを組合せて付加価値を提供することを意図して組成されたファンドは対象外とします。

評価結果の概要

2025年3月末時点での評価結果の概要は以下の通りです。課題を認識したファンドについては、品質改善に向けて取り組んでまいります。

運用実績

株式ファンドでは、成長が期待される銘柄や小型銘柄への投資を行うファンドやインド株に投資を行うファンド、債券を多く組み入れるファンドでは、為替ヘッジのコストや金利上昇がマイナスに影響したことに加えて比較的低いリスク水準で運用するファンドが、競合比較の結果、Red（赤）評価となりました。機動的な資産配分やメリハリをつけた投資などを通じてパフォーマンスの向上を目指してまいります。

商品性

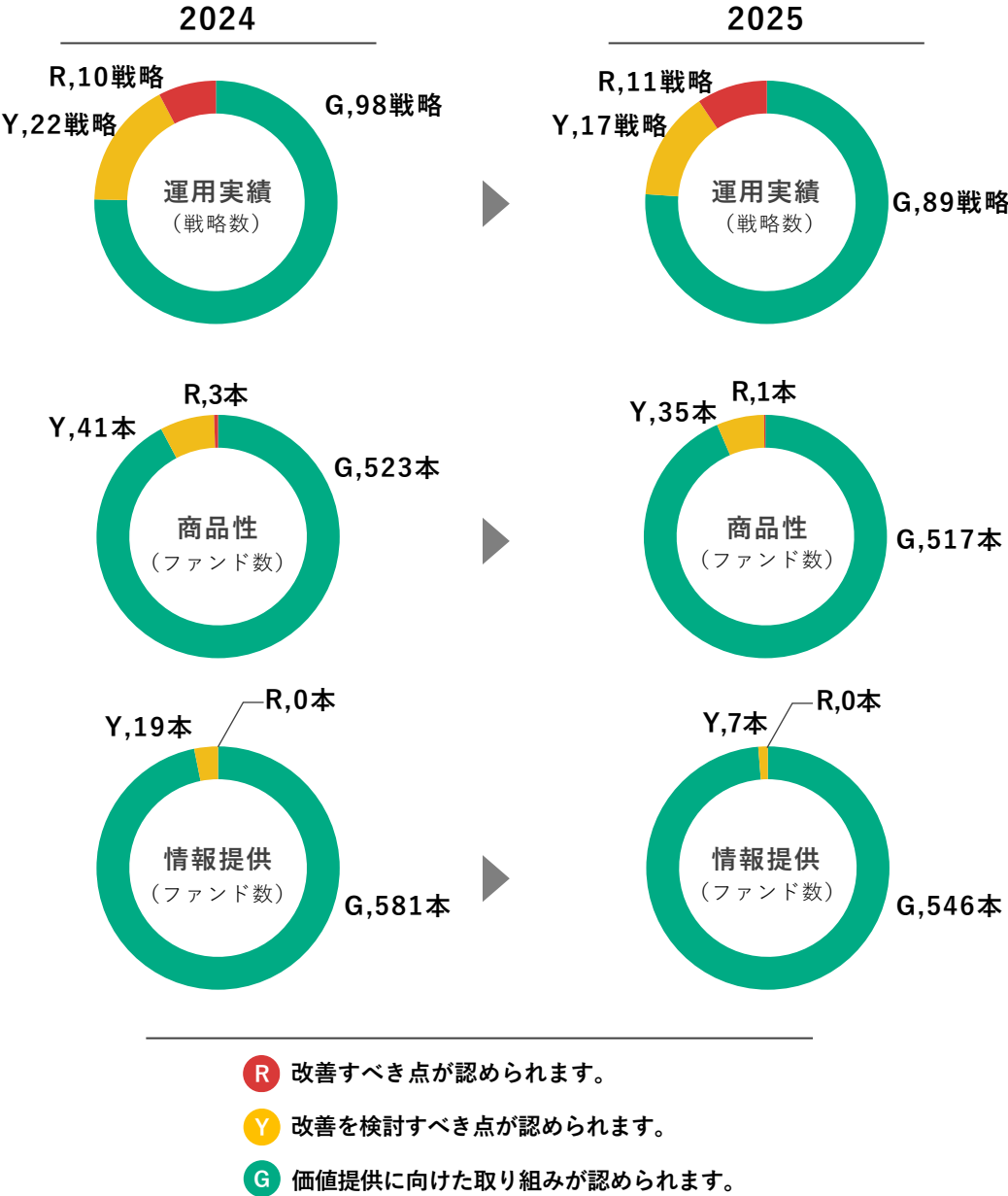
主に株式を組み入れるファンドでは平均保有期間が、主に債券を組み入れるファンドでは経費率が要因となり、Yellow（黄）評価となりました。また、利回りが継続的に目標を下回る状況が続いているファンドについても、定性的にYellow（黄）評価としました。

情報提供

債券を多く組み入れるマルチアセットのファンドでは、為替ヘッジのコストや金利上昇などの市場環境を踏まえた運用状況の開示について、ESGファンドでは、インパクト投資の達成状況に関する開示について、改善を検討すべき点が認められたため、Yellow（黄）評価としました。

ファンド・レビューの評価

評価の内訳



改善が必要な運用戦略／ファンド

評価項目	運用戦略／ファンド	課題と対応	掲載頁
運用実績	野村ジャパンドリーム	割安株が主導する市場において株主還元やガバナンス改革などを加味した銘柄選択を行い改善傾向にあります。	P.18
	野村リアルグロス・オープン	割安株が主導する市場においてメリハリをつけた投資などを行い改善傾向にあります。	P.19
	野村日本最高益更新企業ファンド	「最高益を更新していくことが期待される銘柄」を中心にメリハリをつけた投資を行いました但課題は残り、引き続き改善に努めます。	P.23
	野村日本ブランド株投資	短期の業績にも配慮しながら、確信度の高い銘柄への投資を増やす取り組みを進めており、改善傾向にあります。	P.24
	野村インド株投資	長期的には金融銘柄への投資が奏功していますが、過去5年ではパフォーマンスが悪化しています。体制強化などを通じて改善に努めます。	P.28
	世界分散投資戦略ファンド	債券比率を高め為替ヘッジを行うファンドの特徴が相対的に不利となる市場環境でしたが、今後は確信度が高い戦略への配分などを通じて改善に努めます。	P.32
	野村DC運用戦略ファンド	債券比率を高めるファンドの特徴が相対的に不利となる環境でした。今後は利回りリスクの両面を考慮しながら改善に努めます。	P.33
	野村ターゲットインカムファンド	投資環境や利回りは改善傾向にありますが、為替ヘッジコストの影響などを受け、引き続きRed（赤）評価となりました。	P.36
	野村テンプレート・トータル・リターン	2024年の米国大統領選挙結果を受けた米ドル高がマイナスに影響しました。ポジションの入れ替えを実施して改善に努めます。	P.59
	野村為替ヘッジ付き世界債券ファンド	市場環境に対し円債と為替ヘッジ付き外国債券の配分に課題がみられ、機動的な資産配分を通じて改善に努めます。	P.60

ファンド・レビュー結果

国内株式

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
1	小型ブルーチップオープン	G	G	G	
2	スーパートレンドオープン	G	G	G	
3	ストラテジック・バリュー・オープン	G	G	G	
4	ジャパン・ストラテジック・バリュー	—	G	G	
5	ストラテジック・バリュー・オープン（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
6	ストラテジック・バリュー・オープン（野村SMA向け）	—	G	G	
7	日本好配当株投資	Y	G	G	P.17
8	好配当日本株式オープン	—	G	G	
9	日本新興成長企業株ファンド	G	G	G	
10	ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン（野村SMA向け）	NR	G	G	
11	野村小型株オープン	G	G	G	
12	野村ジャパンドリーム（野村SMA・EW向け）	R	G	G	P.18
13	ミリオン（ジャパンドリームポートフォリオ）	—	G	G	
14	野村日本小型株セレクト（野村SMA・EW向け）	G	G	G	
15	野村日本真小型株投資	G	G	G	
16	野村日本割安低位株オープン	G	G	G	
17	野村リアルグロース・オープン	R	G	G	P.19
18	野村リアルグロース・オープン（確定拠出年金向け）	—	G	G	
19	リサーチ・アクティブ・オープン	G	G	G	
20	リサーチ・アクティブ・オープン（確定拠出年金向け）	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
21	リサーチ・アクティブ・オープン（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
22	リサーチ・アクティブ・オープン（野村SMA向け）	—	G	G	
23	クスリのアオキホールディングス株式ファンド（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
24	日本次世代経営者ファンド	NR	G	G	
25	ノムラ・ザ・セレクト（野村SMA・EW向け）	Y	G	G	P.20
26	ノムラ・ジャパン・オープン	G	G	G	
27	ノムラ・ジャパン・オープン（確定拠出年金向け）	—	G	G	
28	野村国内株式アクティブオープン（確定拠出年金向け）	—	G	G	
29	野村DC日本株式アクティブファンド	—	G	G	
30	ノムラ・ジャパン・オープン（野村SMA向け）	—	G	G	
31	野村継続増配日本株	G	G	G	
32	野村セレクト・オポチュニティ（野村SMA・EW向け）	G	G	G	
33	ラップ専用・日本株式アクティブ（セレクト・オポチュニティ）	—	G	G	
34	野村国内株式アクティブオープン（旧ノムラ日本株戦略ファンド）	R	R	G	P.21
35	野村日本株アクティブ・コアファンド（確定拠出年金向け） （旧ノムラ日本株戦略ファンド（確定拠出年金向け））	—	G	G	
36	野村日本企業価値向上オープン（円投資型）	Y	G	G	P.22
37	野村日本企業価値向上オープン（米ドル投資型）	—	G	G	
38	野村日本最高益更新企業ファンド	R	G	G	P.23
39	野村日本ブランド株投資（円コース）年2回決算型	R	G	G	P.24
40	野村日本ブランド株投資（円コース）毎月分配型	—	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

国内株式

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
41	野村日本ブランド株投資（ブラジルリアルコース）年2回決算型	—	G	G	
42	野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）年2回決算型	—	G	G	
43	野村日本ブランド株投資（ブラジルリアルコース）毎月分配型	—	G	G	
44	野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
45	野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）毎月分配型	—	G	G	
46	野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）年2回決算型	—	G	G	
47	野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）毎月分配型	—	G	G	
48	野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）毎月分配型	—	G	G	
49	野村日本ブランド株投資（米ドルコース）年2回決算型	—	G	G	
50	野村日本ブランド株投資（米ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
51	野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）年2回決算型	—	G	G	
52	野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）年2回決算型	—	G	G	
53	3県未来ファンド	NR	G	G	
54	関西応援ファンド	G	G	G	
55	情報エレクトロニクスファンド	G	G	G	
56	脱炭素ジャパン	Y	G	G	P.25
57	世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）	Y	G	G	P.26
58	世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）	—	Y	G	
59	ロボ・ジャパン（円投資型）	G	G	G	
60	ロボ・ジャパン（米ドル投資型）	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

サマリー

ファンド・レビューの結果

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
61	野村日本高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型	NR	G	G	
62	野村日本高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型	—	G	G	
63	野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	—	G	G	
64	野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	—	G	G	

国内不動産投信

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
65	J-REITオープン（年4回決算型）	G	G	G	
66	野村Jリートファンド	—	G	G	
67	J-REITオープン（資産成長型）	—	G	G	
68	J-REITオープン（毎月決算型）	—	G	G	
69	野村J-REITファンド（確定拠出年金向け）	—	G	G	
70	野村J-REITファンド（野村SMA向け）	—	G	G	
71	ラップ専用・J-REITアクティブ	—	G	G	
72	野村日本不動産投信	Y	G	G	P.27

海外株式

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
73	アジア好配当株投信	G	G	G	
74	ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・インド・フォーカス）	G	G	G	
75	ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・インドネシア・フォーカス）	NR	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

海外株式

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
76	野村インド株投資	R	G	G	P.28
77	グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	G	G	G	
78	グローバル・バリュー・オープン	G	G	G	
79	グローバル・バリュー・オープン（確定拠出年金向け）	—	G	G	
80	ラップ専用・世界株式アクティブ（グローバル・バリュー）	—	G	G	
81	世界好配当株投信	G	G	G	
82	世界好配当株投信（毎月分配型）	—	G	G	
83	野村世界好配当株投信（確定拠出年金向け）	—	G	G	
84	世界好配当株投信（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
85	世界好配当株投信（野村SMA向け）	—	G	G	
86	野村未来トレンド発見ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	G	G	G	
87	野村未来トレンド発見ファンド Dコース（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	—	G	G	
88	野村未来トレンド発見ファンド Aコース（為替ヘッジあり）	—	G	G	
89	野村未来トレンド発見ファンド Cコース（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型	—	G	G	
90	野村DC未来トレンド発見ファンド	—	G	G	
91	ラップ専用・世界株式アクティブ（グローバル・マルチテーマ）	—	G	G	
92	東欧投資ファンド	NR	G	G	
93	野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース	G	G	G	
94	野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース	—	G	G	
95	野村サステナブルセレクト（世界株式型 Bコース）	NR	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

サマリー

ファンド・レビューの結果

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
96	野村サステナブルセレクト（世界株式型 Aコース）	—	G	G	
97	野村世界業種別投資シリーズ（世界金融株投資）	G	G	G	
98	野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）	Y	Y	G	P.29
99	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	G	G	G	
100	野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）	G	G	G	
101	米国NASDAQオープンBコース	G	G	G	
102	米国NASDAQオープンAコース	—	G	G	

国内債券

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
103	ノムラ日本債券オープン（確定拠出年金向け）	G	G	G	
104	ノムラ日本債券オープン（野村SMA向け）	—	G	G	
105	ノムラ日本債券オープン（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
106	野村日本債券ファンド（確定拠出年金向け）	G	G	G	
107	財形給付金ファンド	NR	G	G	
108	第1回 公社債投資信託	NR	G	G	
109	第2回 公社債投資信託	NR	G	G	
110	第3回 公社債投資信託	NR	G	G	
111	第4回 公社債投資信託	NR	G	G	
112	第5回 公社債投資信託	NR	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

国内債券

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
113	第 6回 公社債投資信託	NR	G	G	
114	第 7回 公社債投資信託	NR	G	G	
115	第 8回 公社債投資信託	NR	G	G	
116	第 9回 公社債投資信託	NR	G	G	
117	第10回 公社債投資信託	NR	G	G	
118	第11回 公社債投資信託	NR	G	G	
119	第12回 公社債投資信託	NR	G	G	
120	ラップ専用・日本債券アクティブ（クレジット戦略型）	NR	G	G	

海外債券

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
121	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	G	G	G	
122	野村インド債券ファンド（年2回決算型）	—	G	G	
123	（トヨタ モーター クレジット）トヨタグループ世界債券ファンド（年2回分配型）	NR	G	G	
124	（トヨタ モーター クレジット）トヨタグループ世界債券ファンド（毎月分配型）	—	G	G	
125	ラップ専用・外国債券アクティブ	NR	G	G	
126	グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Bコース	NR	G	G	
127	グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Aコース	—	G	G	
128	ノムラ・ボンド・インカム・オープン	G	G	G	
129	野村外国債券アクティブファンド（確定拠出年金向け）	G	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
130	野村外国債券アクティブファンドBコース（野村SMA向け）	—	G	G	
131	野村外国債券アクティブファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
132	野村外国債券アクティブファンドAコース（野村SMA向け）	—	G	G	
133	野村外国債券アクティブファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
134	ラップ専用・外国国債アクティブ（為替ヘッジあり）	—	G	G	
135	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）	G	G	G	
136	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
137	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	Y	G	G	P.30
138	野村ワールドボンド・ファンド	G	Y	G	P.31
139	ハイブリッド・インカムオープン	G	G	G	
140	野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	NR	G	G	
141	野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	—	G	G	

マルチアセット・その他

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
142	世界分散投資戦略ファンド	R	G	G	P.32
143	野村DC世界分散投資戦略ファンド	—	G	G	
144	野村DC運用戦略ファンド	R	G	G	P.33
145	ネクストコア	—	G	G	
146	野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	Y	G	G	P.34

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

マルチアセット・その他

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
147	<u>野村世界6資産分散投信（配分変更コース）</u>	Y	G	G	P.35
148	<u>野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）</u>	R	Y	Y	P.36
149	<u>野村ターゲットインカムファンド（資産成長型）</u>	—	Y	Y	
150	<u>野村ターゲットインカムファンド（年6%目標払出型）</u>	—	Y	Y	
151	<u>野村ワールドスター オープン</u>	NR	G	G	
152	<u>野村サステナブルセレクト（世界バランス型 Bコース）</u>	NR	G	G	
153	<u>野村サステナブルセレクト（世界バランス型 Aコース）</u>	—	G	G	
154	<u>システマティック・グローバル・マクロ戦略ファンド（投資一任サービス向け）</u>	NR	G	G	
155	<u>ノムラスマートプレミアム（野村SMA・EW向け）</u>	NR	G	G	
156	<u>財形株投（年金・住宅財形30）</u>	G	G	G	
157	<u>財形株投（一般財形30）</u>	—	G	G	
158	<u>財形株投（一般財形50）</u>	G	G	G	
159	<u>ミリオン（バランスポートフォリオ）</u>	G	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

サマリー

ファンド・レビューの結果

アクティブ

インデックス

外部委託

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

日本好配当株投信

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
7	日本好配当株投信	Y	G	G	
8	好配当日本株式 オープン	—	G	G	

戦略の概要

- わが国の株式を実質的な主要投資対象とします。
- 株式への投資にあたっては、配当利回りに着目し、高水準のインカムゲインと中長期的な値上がり益の獲得によるトータル・リターン追求を目指します。
- ポートフォリオの平均配当利回りが市場平均を上回るよう銘柄の選定、投資比率の決定を行うことを基本とします。
- 予想配当利回りが市場平均を上回る銘柄を中心に、投資銘柄を選別し、銘柄分散・業種分散に一定の配慮を行い、ポートフォリオを構築します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	中位

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★★	★★★
	Japan Fund Japan Large-Cap Value Equity			
Fundmark	☆☆	☆☆	☆☆☆	
	国内株式/スタイル/バリュエ			

課題認識

- 予想配当利回りを重視したことで、高配当利回り銘柄を選別する業種配分において自動車セクターへの配分比率を高くしていたことがマイナスに影響し、競合ファンドに対して劣後しました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 銘柄情報の更新頻度を高めることで業種配分の改善に努めます。
- 調査対象銘柄を拡大し中小型株式への投資機会を増加することでパフォーマンス向上を図ります。

野村ジャパンドリーム

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
12	野村ジャパンドリーム（野村SMA・EW向け）	R	G	G	
13	ミリオン（ジャパンドリーム ポートフォリオ）	—	G	G	

戦略の概要

- わが国の株式を主要投資対象とします。
- 投資にあたっては、わが国の小型株の中から企業の収益力、成長力等からみて中期的に成長が期待できる銘柄を中心に投資することを基本とします。
- ポートフォリオの構築にあたっては、わが国の株式の中で、主に新興市場に上場する株式の中から中長期的に利益成長が期待できる株式を選別し、バリュエーション（割高・割安度合いの評価）を中心とした定量分析・評価に基づき割安株を選別します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位（劣後）	中位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★★	★★★★
	Japan Fund Japan Small/Mid-Cap Growth Equity			
Fundmark	☆☆	☆	☆☆☆	
	国内株式/スタイル/中小型株			

課題認識

- 小型株の中から中期的な成長が期待できる銘柄を重視するファンド特性を有しておりますが、評価期間である過去5年では割安株主導の市場環境となったことから、パフォーマンスが劣後しました。
- 2024年度より、中期的な成長性だけでなく、投資テーマの分散、株主還元やガバナンス改革を加味し割安性も重視した銘柄選択を行ってまいりました。その効果もあり、2024年度1年間では参考指数であるRussell/Nomura Small Cap Growthインデックス対比で超過収益を獲得でき、改善傾向は見られたものの、過去5年の競合比での改善には至りませんでした。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 引き続き、当ファンドの特性である中期的な成長が期待できる銘柄への投資を維持しながら、これまでの改善策である、投資テーマの分散、株主還元やガバナンス改革を加味し割安性も重視した銘柄選択を行うことで、パフォーマンスの改善を目指します。

野村リアルグロース・オープン

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
17	野村リアルグロース・オープン	R	G	G	
18	野村リアルグロース・オープン（確定拠出年金向け）	—	G	G	

戦略の概要

- わが国の株式を主要投資対象とします。
- 組入銘柄の選定にあたっては、主として個別企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」により中長期的に高い成長が期待できる企業の株式（成長株）を選別します。
- 企業の株価水準について、当該企業の成長性を勘案したうえでのバリュエーション評価（割高・割安度合いの評価）等を行い、ポートフォリオの構築を行います。
- Russell/Nomura Total Market Growth インデックスをベンチマークとします。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位（劣後）

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★	★★
	Japan Fund Japan Small/Mid-Cap Growth Equity			
Fundmark	☆☆	☆☆	☆	
	国内株式/スタイル/グロース			

課題認識

- 小型成長株への投資を行うファンド特性により、ベンチマークに対して長期のパフォーマンスが劣後しています。
- 割安性を加味した銘柄選定やメリハリをつけた運用によってパフォーマンスの改善を図ることとしました。
- 具体的には、銘柄特性などの分散に注意を払う一方、確信度に応じて保有ウェイトを均等ウェイトからメリハリを付けるなどの対応を実施し、2024年度1年間ではベンチマーク対比で超過収益を獲得でき、改善傾向は見られたものの、過去10年の競合比での改善には至りませんでした。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 引き続き、当ファンドの特性を維持しつつ、これまでの改善策である銘柄特性などの分散や、確信度に応じて保有ウェイトのメリハリをつけるような対応を継続することで、パフォーマンスの改善を目指します。

ノムラ・ザ・セレクト（野村SMA・EW向け）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
25	ノムラ・ザ・セレクト（野村SMA・EW向け）	Y	G	G	

戦略の概要

- わが国の株式を実質的な主要投資対象とします。
- 投資にあたっては、主として個別企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」に基づいて、個別銘柄選定、ポートフォリオの構築等を行うことを基本とします。
- 「成長企業」「勝ち残り企業」の視点から選定するポートフォリオと持続的成長性を重視した銘柄選定を行うポートフォリオを組み合わせる最終ポートフォリオを構築します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	上位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★★	★★★★★	★★★★
	Japan Fund Japan Large-Cap Growth Equity			
Fundmark	☆☆	☆☆	☆☆☆☆	
	国内株式/一般/フリー			

課題認識

- コロナショック以降の継続的な業績の改善、割高成長銘柄の株価調整、東証改革による割安銘柄の株主還元拡大期待による株価上昇により、大型成長銘柄中心の日本株厳選投資が組入れの半分を占める当ファンドは、競合ファンドに対しパフォーマンスが劣後しました。
- コロナショック当初にパフォーマンスをけん引していた安定成長銘柄が2021年以降軟調に推移したことや、高成長が期待される中型株式を中心とした割高な銘柄が、コロナショック直後の業績拡大をピークに成長が鈍化したことなどが、パフォーマンスの悪化につながりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ROE（自己資本利益率）が改善している銘柄の組み入れや、安定成長銘柄や割高銘柄の比率を見直しました。もともと長期保有が中心でしたが、市場環境の変化に合わせて売買回転率※も増やしました。また、2024年度からはROEの水準だけでなく、その方向性にも注目するように修正しました。

※ ポートフォリオに組入れられる資産が売買によってどの程度入れ替わったのかを示す指標

野村国内株式アクティブオープン（旧 ノムラ日本株戦略ファンド）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
34	野村国内株式アクティブオープン（旧ノムラ日本株戦略ファンド）				
35	野村日本株アクティブ・コアファンド（確定拠出年金向け）（旧ノムラ日本株戦略ファンド(確定拠出年金向け)）	—			

戦略の概要（旧）

- わが国の株式を主要投資対象とします。
- 投資にあたっては、投資対象銘柄を「大中型バリュー」「大中型グロース」「小型ブレンド」の3つに区分し、それぞれの投資スタイルに応じた専門チームが個別銘柄の選定と投資比率の決定等を行います。
- 各スタイルへの資産配分については運用総責任者を中心とする委員会において、投資環境見通し等の定性的判断に加え、リスク管理等の定量的判断も参考にして、適宜変更することを基本とします。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位（劣後）

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★	★★
	Japan Fund Japan Large-Cap Blend Equity			
Fundmark	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
	国内株式/一般/フリー			

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
34	野村国内株式アクティブオープン （旧ノムラ日本株戦略ファンド）	2.09%	1.64%

ファンドの投資リスク、費用等については、上記のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

課題認識

【運用実績】

- 「大中型グロース」「大中型バリュー」「小型ブレンド」の各スタイル間で超過収益を相殺する傾向が残る状況が継続していました。
- 同類ファンドと比較して高い経費に見合うパフォーマンスとなるように、リスク量の引き上げやスタイル配分の見直しなど、これまで品質改善に取り組んでまいりましたが、パフォーマンスを明確に改善させることができませんでした。

【商品性】

- ノムラ国内株式アクティブオープンは、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。また、その経費率に見合うパフォーマンスを提供できておりません。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 運用戦略を変更し、さらに信託報酬を引き下げることによって商品性の改善を図ることとしました。
- 日本株アクティブ運用の旗艦ファンドと同一の運用方針とし、良好なパフォーマンスを提供しながらこれまでの課題の解決や運用効率の向上を目指します。

野村日本企業価値向上オープン

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
36	野村日本企業価値向上オープン（円投資型）	Y	G	G	
37	野村日本企業価値向上オープン（米ドル投資型）	—	G	G	

戦略の概要

- わが国の株式の中から、企業価値向上が期待される銘柄を選別して投資することにより、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
- 独自の手法によって選定された企業価値向上の余地があると思われる銘柄群から、株主価値に対する経営姿勢についての評価*や企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」に基づいて、組入銘柄の選定、ポートフォリオの構築等を行うことを基本とします。

*株主価値に対する経営姿勢についての評価にあたっては、経営者などとの対話を通じた企業価値向上への意識の変化などを重視します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	—

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	—	★★
	Japan Fund Japan Small/Mid-Cap Blend Equity			
Fundmark	☆☆☆	☆☆	—	
	国内株式/一般/フリー			

課題認識

- 銀行株の非保有や中小型株式の保有状況がマイナスに影響したことで一般的な市場指数であるTOPIX（東証株価指数）（配当込み）に対して劣後しました。
- 企業との対話に取り組んだ銘柄のポートフォリオ構築に課題が見つかったことも競合プロダクトに対して劣後した要因の一つです。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 企業価値向上に対して企業が持つ意識の変化よりも、ポートフォリオマネージャーの考えをより反映するように運用プロセスを見直し、業種ごとの偏りなどの課題を改善します。
- 各銘柄の売買基準を見直すことで、機動的に銘柄の入れ替えを行います。
- さらに、企業との対話に取り組んだ銘柄については、パフォーマンスにより大きな影響を与える特定のテーマに絞り込むことで、運用成績の向上を目指します。

野村日本最高益更新企業ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
38	野村日本最高益更新企業ファンド	R	G	G	

戦略の概要

- わが国の株式を主要投資対象とします。
- 投資にあたっては、最高益を更新してきた銘柄および最高益を更新していくことが期待される銘柄を対象として、業績動向等の分析に加え、競争力の持続性および経営方針等の定性評価を行い、投資候補銘柄を選定します。
- ポートフォリオの構築にあたっては、投資候補銘柄について、ESGへの取り組み、市場環境、業績動向、株価の割安性、時価総額や流動性等を勘案して組入銘柄と投資比率を決定します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位 (劣後)	下位 (劣後)	－

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★	－	★
	Japan Fund Japan Large-Cap Growth Equity			
Fundmark	☆	☆	－	
	国内株式/一般/フリー			

課題認識

- 投資候補銘柄の選定についてESGの視点を考慮しながら、保有上位銘柄のウェイト引き上げ、企業業績精査の強化に伴う投資機会の拡大等を行ってまいりましたが、投資候補銘柄の特性として低ベータ（株式市場全体の値動きに対する感応度が低い）、安定成長といった傾向が強く、割安株主導の上昇相場も逆風となり、競合比のパフォーマンス劣後が継続しました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 昨年度からの改善策である企業業績精査の強化に伴う投資機会の拡大により一層注力します。具体的には、長期だけでなく短期の業績動向および株価動向にも注視し、これまで以上に柔軟な銘柄選択を図ることで、パフォーマンスの改善を目指します。
- 投資候補銘柄の選定に関する改善策として、過去の最高益更新回数だけでなく、将来的な最高益更新の可能性をより重視することを検討しています。

野村日本ブランド株投資

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
39	野村日本ブランド株投資（円コース）年2回決算型	R	G	G	■
40	野村日本ブランド株投資（円コース）毎月分配型	—	G	G	■
41	野村日本ブランド株投資（ブラジルリアルコース）年2回決算型	—	G	G	■
42	野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）年2回決算型	—	G	G	■
43	野村日本ブランド株投資（ブラジルリアルコース）毎月分配型	—	G	G	■
44	野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）毎月分配型	—	G	G	■
45	野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）毎月分配型	—	G	G	■

戦略の概要

- ・グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式を実質的な主要投資対象とします。
- ・企業がもつ競争力を定性判断し、投資銘柄を選択し、マクロ環境、事業環境、市場環境、流動性、企業収益動向やバリュエーション等を考慮し、ポートフォリオを構築します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位（劣後）	下位	下位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★	★★	★★	★★
	Japan Fund Japan Large-Cap Blend Equity			
Fundmark	☆☆	☆☆☆	☆☆	
	国内株式/一般/フリー			

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
46	野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）年2回決算型	—	G	G	■
47	野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）毎月分配型	—	G	G	■
48	野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）毎月分配型	—	G	G	■
49	野村日本ブランド株投資（米ドルコース）年2回決算型	—	G	G	■
50	野村日本ブランド株投資（米ドルコース）毎月分配型	—	G	G	■
51	野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）年2回決算型	—	G	G	■
52	野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）年2回決算型	—	G	G	■

課題認識

- ・割安株主導の市場環境の中、ポートフォリオの割安株の組み入れが相対的に少なく競合比較におけるパフォーマンスが劣後しました。具体的には金融セクター（主に銀行株）、商社株といったPBR（株価純資産倍率）が低い傾向の銘柄を一般的な市場指数であるTOPIX（東証株価指数）（配当込み）よりもアンダーウェイト※していたことに加え、長期視点で投資した銘柄の値下がりがパフォーマンスに悪影響を及ぼしました。

※資産配分を決定する際に、ある投資対象への配分比率を、基準となる資産の配分比率より少なくすること。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ・劣後要因であった金融セクターについては銀行株、保険株の組入れを行い、金利上昇リスクに対応いたしました。また、銘柄選択面では、短期の業績動向および株価動向を注視し、機動的に銘柄入替を行っていくことでパフォーマンスの改善を図ってまいります。

脱炭素ジャパン

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
56	脱炭素ジャパン	Y	G	G	

戦略の概要

- わが国の株式を実質的な主要投資対象とします。
- 個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより脱炭素※への貢献が期待される投資候補銘柄を選定します。
※脱炭素とは、温室効果ガスの排出を全体としてゼロ（二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いた、実質ゼロを意味しています。）にすることです。
- 企業の脱炭素社会の実現に向けた取り組みや貢献に着目し、脱炭素関連企業（脱炭素関連ビジネスを展開する企業や脱炭素社会実現への取り組みを行う企業）への投資を通じて、脱炭素社会の実現への貢献を目指します。
- ポートフォリオ構築にあたっては、企業の競争力、成長性、業種分散、バリュエーション評価（株価の割高・割安の度合い）等を総合的に勘案して組入銘柄および組入比率を決定します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	－	－

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★	－	－	★
	Japan Fund Japan Large-Cap Blend Equity			
Fundmark	☆☆☆	－	－	
	国内株式/業種・テーマ/ESG			

課題認識

- 脱炭素関連企業に投資するファンド特性により、継続的なインフレや環境関連銘柄の低迷の影響を受けて競合他社に対してパフォーマンスが劣後しました。
- 中小型株の保有ウェイトが高いことや脱炭素とは関連性の薄い株式の非保有などもパフォーマンス悪化の要因と考えています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 当ファンドの特性（脱炭素社会の実現に貢献すると考える企業への投資を重視したスタイル）を維持しながら、特定の投資アイデア（電気自動車、再エネ、省エネ設備など）からより多様化を進めること、担当者の調査リソースを強みのある中小型株へシフトさせ、大型株についてはアナリスト情報を活用することなどを行ってまいります。

世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
57	世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）	Y	G	G	
58	世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）	—	Y	G	

戦略の概要

- わが国の株式の中から、SDGs※やESGなどに係る社会的課題の解決への取り組みに着目し、利益成長することが期待される企業の株式に投資することを基本とします。

※ SDGsとは持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことをいいます。

- 「高齢化社会」、「環境・エネルギー対策」、「社会効率化」、「新興国の生活改善」、「地域社会」の5つを解決すべき社会的課題（＝投資テーマ）として掲げ、投資を通じた社会的課題の解決への貢献を目指します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	—	—

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	—	—	★★
	Japan Fund Japan Large-Cap Growth Equity			
Fundmark	☆☆	—	—	
	国内株式/業種・テーマ/ESG			

平均保有期間

No	ファンド名	平均保有期間
58	世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資） （確定拠出年金向け）	2.9年

ファンドの投資リスク、費用等については、上記のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

課題認識

【運用実績】

- 社会的課題へのインパクト創出と利益成長を両立する銘柄へ投資を行う投資コンセプトから、安定成長銘柄の保有が多かった一方で、割安銘柄主導の上昇相場が逆風となり、競合比のパフォーマンス劣後が継続しました。
- ESGレーティング付与銘柄の増加による投資対象銘柄の拡大、市場環境に合わせたポートフォリオのPER（株価収益率）の割高傾向の修正を図ってきましたが、改善は不十分でした。

【商品性】

- 世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）は、平均保有期間の水準が短く、同類ファンドと比較しても短期の保有期間となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

【運用実績】

- 利益成長の安定性が高い銘柄だけでなく、利益成長の改善傾向がみられる銘柄についても、投資対象銘柄とすることで、パフォーマンスの改善を目指します。

【商品性】

- 世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）は、ファンドの設定解約による資金動向に注視してまいります。

野村日本不動産投信

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
72	野村日本不動産投信	Y	G	G	

戦略の概要

- J-REIT ※市場全体の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行うことを基本とします。

※国内の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。）

- J-REITへの投資にあたっては、J-REIT市場における時価総額構成比を基本にしながらも、流動性などを勘案して各銘柄に対する投資比率を適宜調整します。

課題認識

- 2023年9月以前は、リスク量を抑えた運用により、競合ファンドに劣後しました。
- 2023年10月以降は、運用プロセスを改善し、リスク水準の引き上げを図りましたが、個別銘柄を複数のファクターで評価する手法やモデルを用いたポートフォリオ構築手法は、当該期間では有効に機能しませんでした。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	中位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★★	★★★
	Japan Fund Japan REIT			
Fundmark	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	
	国内不動産投信/国内不動産投信/一般			

対応方針/改善に向けた取り組み

- 2024年3月に信託報酬を引き下げて、あわせてトラッキングエラーを高めるよう運用の見直しを行い、パフォーマンスの改善を図ることとしました。
- 引き続き、上記の手法に関する更なる検証を行い、運用プロセスの改善に向けて取り組んでまいります。

野村インド株投資

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
76	野村インド株投資	R	G	G	

戦略の概要

- インド企業の株式を中心に収益性、成長性、安定性およびバリュエーション等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資します。
- ファンダメンタルズを重視したアクティブ運用を行うことでベンチマーク（MSCI インド・インデックス）を上回る投資成果を目指します。
- ポートフォリオの構築は、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選択を中心とし、トップダウン・アプローチによる業種判断も加味して行います。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位（劣後）	中位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★	★★★	★★
	Japan Fund India Equity			
Fundmark	☆☆	☆	☆☆☆	
	海外株式/アジア・オセアニア/インド/原則ヘッジなし			

課題認識

- 2020年頃までは金融セクターの銘柄選択が奏功していたものの、その後は逆にパフォーマンスの重石となっていたことや、株式市場の一部のセクターや銘柄が過熱していると判断した際に保守的な投資行動を行ったことがベンチマークに劣後する要因となりました。
- 株式市場が上昇する局面でキャピタル・ゲインにかかる想定課税額を日々計算し、引当金を計上する影響や、中小型株式のパフォーマンスが相対的に良好に推移する局面で大型株式を中心に組み入れる商品性も競合ファンドに劣後する要因となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 2022年以降、改善策として複数のセクターにバランスよく投資したことに加え、投資判断力の向上のために継続的に人員の採用も行い、企業訪問などを通じたリサーチ力の強化に努めております。
- 今後は上記の効果が現れることを期待しており、投資判断力の向上を通じてパフォーマンスの改善を図ってまいります。

野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
98	野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）	Y	Y	G	

戦略の概要

- 世界各国の資源関連企業の株式を主要投資対象とします。
- ファンドにおいて「資源関連企業の株式」とは、資源およびエネルギーの開発、加工、販売および関連するサービスなどを提供する企業の株式を指します。
- 株式への投資にあたっては、世界各国の資源関連企業の株式を中心に、世界全体のマクロ経済見通し等を考慮しつつ、地理的・地質学的条件、生産コスト、価格決定力、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行い、組入銘柄を決定します。
- MSCI All Country World Energy & Materialsをベンチマークとします。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	中位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	—	—	—	—
	Japan Fund World Specialty Equity			
Fundmark	☆☆	☆☆	☆☆☆	
	海外株式/業種・テーマ/資源関連/原則ヘッジなし			

平均保有期間

No	ファンド名	平均保有期間
98	野村世界業種別投資シリーズ （世界資源株投資）	0.5年

ファンドの投資リスク、費用等については、上記のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

課題認識

【運用実績】

- エネルギーと素材の両セクターに投資するファンド特性を有していますが、エネルギーセクターが堅調に推移する中、同セクターの配分比率が高い競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。
- 両セクターの動きを概ね捉える投資成果を目指しながら超過収益を狙うため、他の競合ファンドよりもリスク水準を十分に引き上げられず、経費を上回るだけの十分な超過収益を得られなかったことも競合に劣後した要因の一つです。

【商品性】

- 野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）は、平均保有期間の水準が短く、同類ファンドと比較しても短期の保有期間となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

【運用実績】

- エネルギーと素材の両セクターに投資するという当ファンドの特性を維持しつつ、経費率を上回る高い超過収益の獲得を目指します。
- 具体的には、個別株式のアクティブウエイト*の制約の緩和、英国拠点に運用者を配置することによる現地運用者との協働の強化等を通じ、パフォーマンスの改善に努めてまいります。

※指標となる指数の構成比率よりも特定の株式への投資比率を高くすること

【商品性】

- 野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）は、ファンドの設定解約による資金動向に注視してまいります。

野村先進国ヘッジ付き債券ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
137	野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	Y	G	G	

戦略の概要

- 日本を含む世界主要国の国債を主要投資対象とし、投資対象国を原則として3ヵ国選定した上で、国別の投資比率が概ね均等となるように投資を行うことを基本とします。ただし、投資対象国が3ヵ国とならない場合、国別の投資比率が概ね均等とならない場合や日本国債のみに投資を行う場合があります。
- ポートフォリオのデュレーション※は、原則5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持することを基本とします。
※ 金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標
- 原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★★	★★★	★★★	★★★
	Japan Fund World Bond - JPY Hedged			
Fundmark	☆☆	☆	☆	
	海外債券/グローバル/日本含む/フルヘッジ			

課題認識

- 高格付けの国債を投資対象候補とし、為替ヘッジコスト※控除後の利回りが高い3ヵ国に投資を行う商品性を有しておりますが、利回りが急激に上昇に転じ、債券市場の変動率が高まる中、安定的な利回りの享受を志向する本戦略の特性が機能し辛く、十分な収益を確保することができませんでした。
※ 為替ヘッジを行う際に発生する金利差分のコスト
- 海外の金利上昇に伴う円安の進行と高い為替ヘッジコストが継続していました。為替ヘッジコスト控除後の利回りが日本国債を除いてマイナスとなる市場環境において、2023年5月から2025年5月までは日本国債のみでの運用を行ってまいりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 投資対象候補国の利回り動向や為替ヘッジコストに引き続き注視しつつ、為替ヘッジコスト控除後も十分な利回りが確保できることが期待される国がある場合は組み入れを進めていきます。
- なお、2025年7月時点では、日本、ニュージーランド、フランスの3ヵ国を投資対象国として選定し、概ね均等となるように投資を行っております。

野村ワールドボンド・ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
138	野村ワールドボンド・ファンド	G	Y	G	

戦略の概要

- 世界各国の公社債を実質的な主要投資対象とします。
- 投資時点においてBBB格相当以上の格付（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。）を有する世界各国の公社債を投資対象とし、日本を含む先進国の国債等を中心に投資します。
- ポートフォリオのデュレーション※は、原則として0～8年の範囲内で調整します。

※ 金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標

課題認識

- 野村ワールドボンド・ファンドは、平均保有期間の水準が短く、同類ファンドと比較しても短期の保有期間となりました。

評価の根拠

平均保有期間

No	ファンド名	平均保有期間
138	野村ワールドボンド・ファンド	2.2年

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村ワールドボンド・ファンドは、ファンドの設定解約による資金動向に注視してまいります。

世界分散投資戦略ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
142	世界分散投資戦略ファンド	R	G	G	
143	野村DC世界分散投資戦略ファンド	—	G	G	

戦略の概要

- 内外の短期有価証券および上場投資信託証券等を主要投資対象とし、世界各国の株価指数先物取引、債券先物取引等および為替予約取引等を主要取引対象とします。
- 運用にあたっては、様々な指標の動きを計量的に分析し、定性的な判断を加え、ポートフォリオを構築することを基本とします。ポートフォリオの構築にあたっては、リスク水準にも配慮します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位 (劣後)	下位 (劣後)	—

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	—	—	—	—
	Japan Fund Alt-Long/Short			
Fundmark	☆	☆	—	
	マルチアセット/アセットアロケーション/株式組入中位/部分ヘッジ			

課題認識

- コロナショック以降の株式市場の上昇、海外金利上昇に伴う円安の進行と高い為替ヘッジコスト※が生じた市場環境において、株式比率の低さと配分比率の高い債券価格の下落が劣後する要因となりました。
※ 為替ヘッジを行う際に発生する金利差分のコスト
- 2023年度のパフォーマンス改善策として行った人員と運用プロセスの強化により、株式の配分比率を高める判断など資産配分をきめ細かく変更するという改善策の効果は表れていますが、パフォーマンス改善は十分ではありませんでした。
- 確信度が高い戦略への配分に課題が残りしました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 地域や資産を比較した上で相対的に割安と考える方へ投資を行うレラティブ・バリュー戦略において各資産へのリスクの取り方を確信度に応じてメリハリをつけられるように改善します。

野村DC運用戦略ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
144	野村DC運用戦略ファンド	R	G	G	
145	ネクストコア	—	G	G	

戦略の概要

- 国内および外国の株式、公社債および不動産投資信託証券（REIT）を主要投資対象とし、また為替予約取引等を主要取引対象とします。
- 運用にあたっては、世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、リスク水準を一定範囲内程度に抑えつつ効率的に収益を獲得することを目指して、資産への投資比率および為替予約取引等のポジション（持ち高）を決定します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位（劣後）	下位（劣後）

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	—	—	—	—
	Japan Fund Risk Control Allocation			
Fundmark	☆☆	☆	☆	
	マルチアセット/アセットアロケーション/株式組入中位/部分ヘッジ			

課題認識

- リスクを一定範囲内に抑えつつ効率的に収益を獲得することを目指す運用のため、競合比で債券組入比率が高く株式組入比率が低くなりやすいことや、コロナ禍初期にリスクを抑制したことがその後の株式市場の回復局面時にマイナスに影響したことで、過去5年、10年のパフォーマンス評価が劣後しました。
- 2024年度は債券が相対的に軟調な局面であり、競合比で債券比率が高いことがマイナスに影響したことで、前年度の長期評価は下位評価から下位（劣後）評価へ低下しました。
- 評価時点では、株式の組入比率を60％以下とするファンドが含まれる商品分類において競合比較されており、当ファンドが想定するリスク水準とは異なる競合ファンドのパフォーマンスが良好に推移したことなどにより今回の評価となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- コロナ禍での市場環境において課題であったリスクの取得方法を改良したことで、過去3年のパフォーマンス評価の改善が見られています。
- 期待収益とリスクのバランスに応じて資産配分を決定するモデルに関しては、更なる改良を検討します。
- 2025年4月より、各資産間のリスクのバランスを取りながら、期待収益の高い資産の比率を増加させる改良モデルを導入しました。リスクのバランスを調整しながらポートフォリオの入れ替えを慎重に行っており、引き続きパフォーマンスの改善に取り組んでまいります。
- 2025年5月末時点から外部評価機関によるカテゴリーの見直しが行われており、株式の組入比率が低く、当ファンドのリスク水準に近いカテゴリーで評価されることとなりました。2025年7月末時点では、Green（緑）評価相当となっています。

野村DC運用戦略ファンド（マイルド）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
146	野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	Y	G	G	

戦略の概要

- 国内および外国の株式、公社債および不動産投資信託証券（REIT）を主要投資対象とし、また為替予約取引等を主要取引対象とします。
- 運用にあたっては、世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、リスク水準を一定範囲内程度に抑えつつ効率的に収益を獲得することを目指して、資産への投資比率および為替予約取引等のポジション（持ち高）を決定します。

課題認識

- リスクを一定範囲内に抑えつつ効率的に収益を獲得することを目指す運用のため、競合比で債券組入比率が高く株式組入比率が低くなりやすいことや、コロナ禍初期にリスクを抑制したことがその後の株式市場の回復局面時にマイナスに影響したことで、過去5年のパフォーマンス評価が劣後しました。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	－

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	－	－	－	－
	Japan Fund Risk Control Allocation			
Fundmark	☆☆	☆☆	－	
	マルチアセット/アセットアロケーション/株式組入低位/部分ヘッジ			

対応方針/改善に向けた取り組み

- コロナ禍での市場環境において課題であったリスクの取得方法を改良したことで、過去3年のパフォーマンス評価の改善が見られています。
- 期待収益とリスクのバランスに応じて資産配分を決定するモデルに関しては、更なる改良を検討します。
- 2025年4月より、各資産間のリスクのバランスを取りながら、期待収益の高い資産の比率を増加させる改良モデルを導入しました。リスクのバランスを調整しながらポートフォリオの入れ替えを慎重に行っており、引き続きパフォーマンスの改善に取り組んでまいります。

野村世界 6 資産分散投信（配分変更コース）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
147	野村世界 6 資産分散投信（配分変更コース）	Y	G	G	

戦略の概要

- 国内および外国の各債券、国内および外国の各株式、国内および外国の各不動産投資信託証券（REIT）を主要投資対象とします。
- 運用にあたっては、投資対象資産のリスクや利回りおよび市場環境（トレンド）を分析し、効率的に収益を獲得することを目指して、各資産への投資比率を決定します。なお、各資産への投資比率は適宜見直します。

課題認識

- リスク対比の利回りと市場の方向感に基づき国内外の株式や債券に資産配分を行うファンドであり、リスク対比の利回りが高いREITやリスクが低い債券の配分が相対的に高くなっていた一方で、株式の比率は低位にとどまりました。
- 評価対象のカテゴリーの中で株式比率や外貨比率が相対的に低位にありましたが、株式の上昇や円安の進行、債券価格の下落といった市場局面においてマイナスに作用し、競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	－

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	－	－	－	－
	Japan Fund Tactical Allocation			
Fundmark	☆☆	☆☆	－	
	マルチアセット/アセットアロケーション/株式組入高位/原則ヘッジなし			

対応方針/改善に向けた取り組み

- 引き続き、当ファンドの特性（リスク対比の利回りと市場の方向感に基づき局面に応じて資産配分を行うスタイル）を維持してまいります。

野村ターゲットインカムファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
148	野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）	R	Y	Y	
149	野村ターゲットインカムファンド（資産成長型）	—	Y	Y	
150	野村ターゲットインカムファンド（年6%目標払出型）	—	Y	Y	

戦略の概要

- 世界各国の債券等および世界各国の株式等に投資します。また、世界各国の不動産投資信託証券（REIT）および企業向け貸付債権（バンクローン）に投資する場合があります。
- リスク水準を考慮しつつ、年率3%程度の利回り※（コスト控除後）を確保することを目指します。なお、市場環境等によっては、基準価額の大幅な下落を抑えることを目指した運用を行う場合があります。

※ファンドのポートフォリオにおける利回りのことであり、毎年3%の投資収益が得られるものではありません。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位（劣後）	下位	—

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★	★★	—	★★
	Japan Fund Moderately Conservative Allocation			
Fundmark	☆☆	☆☆	—	
	マルチアセット/アセットアロケーション/株式組入中位/部分ヘッジ			

課題認識

【運用実績】

- コロナショック以降に株式市場が上昇したことに加え、海外の金利上昇に伴う円安が進行し高い為替ヘッジコスト※が生じた市場環境となりました。株式比率の低さや債券比率の高さ、加えて債券価額の下落が競合比で劣後する要因となりました。

※為替ヘッジを行う際に発生する金利差分のコスト

【商品性】

- 高い為替ヘッジコストが続いていることから、利回りは目標の3%を下回る状況が続いています。

【情報提供】

- 複数年にわたりファンドが目標を達成できていない中で、投資環境に応じた説明の充実については、更なる改善の余地が見られました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 米国をはじめとする海外の金利低下による為替ヘッジコストの低下や各国の国債利回りの長短金利差が徐々に拡大する等、市場環境は当戦略に好ましい方向に進んでまいりました。これらの要因や円安傾向の一服により競合比は改善傾向です。
- 市場環境の改善に加え、組入れファンドの入れ替えを進めた結果、当ファンドの信託報酬控除後の利回り水準も改善してきておりますが、目標とする3%には至っておりません。
- 外貨比率や為替ヘッジコストを今後もモニタリングしながら、利回りの改善に向けて取り組んでまいります。なお、市場環境の急速な変化が起こらない限り、目標とする3%に直ちに到達することは想定しにくいため、適時の情報開示にも努めてまいります。

ファンド・レビュー結果

インデックス（プロセス）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
1	野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）年2回決算型	NR	G	G	
2	野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）年2回決算型	—	G	G	
3	野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
4	野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）毎月分配型	—	G	G	
5	野村通貨選択日本株投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	—	G	G	
6	野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）年2回決算型	—	G	G	
7	野村通貨選択日本株投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	—	G	G	
8	野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
9	野村日本国債部分ラダーファンド（野村SMA・EW向け）	NR	G	G	
10	野村外国債券（含む新興国）インデックス Bコース（野村投資一任口座向け）	NR	G	G	
11	野村外国債券（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）	—	G	G	
12	野村米国国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA向け）	NR	G	G	
13	野村米国国債部分ラダーファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
14	野村米国国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA向け）	—	G	G	
15	野村米国国債部分ラダーファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	

インデックス（マルチアセット）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
16	野村資産設計ファンド2015	NR	G	G	
17	野村資産設計ファンド2020	NR	G	G	
18	野村資産設計ファンド2025	NR	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
19	野村資産設計ファンド2030	NR	G	G	
20	野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2030	—	G	G	
21	野村資産設計ファンド2035	NR	G	G	
22	野村資産設計ファンド2040	NR	G	G	
23	野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2040	—	G	G	
24	野村資産設計ファンド2045	NR	G	G	
25	野村資産設計ファンド2050	NR	G	G	
26	野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2050	—	G	G	
27	野村資産設計ファンド2060	NR	G	G	
28	野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2060	—	G	G	
29	野村ターゲットデートファンド2016 2026-2028年目標型	NR	G	G	
30	野村ターゲットデートファンド2016 2029-2031年目標型	NR	G	G	
31	野村ターゲットデートファンド2016 2032-2034年目標型	NR	G	G	
32	野村ターゲットデートファンド2016 2035-2037年目標型	NR	G	G	
33	マイターゲット2030（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
34	マイターゲット2035（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
35	マイターゲット2040（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
36	マイターゲット2045（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
37	マイターゲット2050（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
38	マイターゲット2055（確定拠出年金向け）	NR	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

インデックス（マルチアセット）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
39	マイターゲット2060（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
40	マイターゲット2065（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
41	マイターゲット2070（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
42	国内債券・株式バランスファンド（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
43	世界6資産分散ファンド	NR	G	G	
44	多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）	NR	Y	G	P.41
45	野村6資産均等バランス	NR	G	G	
46	野村DCバランスファンド（年金運用戦略タイプ）	NR	G	G	
47	野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型	NR	G	G	
48	野村インデックスファンド・海外5資産バランス	NR	G	G	
49	野村世界6資産分散投信（安定コース）	NR	G	G	
50	野村世界6資産分散投信（DC）安定コース	—	G	G	
51	野村世界6資産分散投信（成長コース）	NR	G	G	
52	野村世界6資産分散投信（DC）成長コース	—	G	G	
53	野村世界6資産分散投信（分配コース）	NR	G	G	
54	野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース	—	G	G	
55	バランスセレクト30	NR	G	G	
56	バランスセレクト30（確定拠出年金向け）	—	G	G	
57	バランスセレクト50	NR	G	G	
58	バランスセレクト50（確定拠出年金向け）	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
59	バランスセレクト70	NR	G	G	
60	バランスセレクト70（確定拠出年金向け）	—	G	G	
61	マイバランス30（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
62	マイバランスDC30	—	G	G	
63	マイバランス50（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
64	マイバランスDC50	—	G	G	
65	マイバランス70（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
66	マイバランスDC70	—	G	G	
67	みらいバランス・株式10（富士通企業年金基金DC向け）	NR	G	G	

インデックス（株式）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
68	トピックス・インデックス・オープン	NR	G	G	
69	野村インデックスファンド・TOPIX	—	G	G	
70	野村日本株インデックス（野村投資一任口座向け）	—	G	G	
71	野村TOPIXインデックス（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
72	トピックス・インデックス・オープン（確定拠出年金向け）	—	G	G	
73	野村国内株式インデックスファンド・TOPIX（確定拠出年金向け）	—	G	G	
74	野村DC国内株式インデックスファンド・TOPIX	—	G	G	
75	はじめてのNISA・日本株式インデックス（TOPIX）	—	G	G	
76	京都・滋賀インデックス ファンド	NR	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

インデックス（株式）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
77	<u>積立て株式ファンド</u>	NR	Y	G	P.42
78	<u>株式インデックス 225</u>	—	G	G	
79	<u>ミリオン（インデックスポートフォリオ）</u>	—	G	G	
80	<u>野村インデックスファンド・日経225</u>	—	Y	G	
81	<u>野村日経225インデックス（野村SMA・EW向け）</u>	—	G	G	
82	<u>野村つみたて日本株投信</u>	—	G	G	
83	<u>野村日経225インデックスファンド（確定拠出年金向け）</u>	—	G	G	
84	<u>はじめてのNISA・日本株式インデックス（日経225）</u>	—	G	G	
85	<u>JPX日経400ファンド</u>	NR	G	G	
86	<u>野村インデックスファンド・JPX日経400</u>	—	G	G	
87	<u>野村DC・JPX日経400ファンド</u>	—	G	G	
88	<u>大塚グループ株式ファンド（確定拠出年金向け）＜大塚ホールディングス株式、アース製薬株式＞</u>	NR	G	G	
89	<u>野村外国株式インデックスファンド</u>	NR	G	G	
90	<u>野村インデックスファンド・外国株式</u>	—	G	G	
91	<u>野村外国株インデックス Bコース（野村投資一任口座向け）</u>	—	G	G	
92	<u>野村外国株インデックス Bコース（野村SMA・EW向け）</u>	—	G	G	
93	<u>野村外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI（確定拠出年金向け）</u>	—	G	G	
94	<u>野村DC外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI</u>	—	G	G	
95	<u>野村スリーゼロ先進国株式投信</u>	—	G	G	
96	<u>野村インデックスファンド・外国株式・為替ヘッジ型</u>	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
97	<u>野村外国株インデックス Aコース（野村SMA・EW向け）</u>	—	G	G	
98	<u>野村外国株インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）</u>	—	G	G	
99	<u>野村インデックスファンド・新興国株式</u>	NR	G	G	
100	<u>野村新興国株式インデックスファンド（確定拠出年金向け）</u>	—	G	G	
101	<u>はじめてのNISA・新興国株式インデックス</u>	—	G	G	
102	<u>野村世界ESG株式インデックスファンド（確定拠出年金向け）</u>	NR	G	G	
103	<u>野村インデックスファンド・先進国ESG株式</u>	—	G	G	
104	<u>野村外国株（含む新興国）インデックス B コース（野村投資一任口座向け）</u>	NR	G	G	
105	<u>野村つみたて外国株投信</u>	—	G	G	
106	<u>野村外国株（含む新興国）インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）</u>	—	G	G	
107	<u>野村インデックスファンド・米国株式配当貴族</u>	NR	G	G	
108	<u>米国株式配当貴族（年4回決算型）</u>	—	G	G	
109	<u>米国株式配当貴族・為替ヘッジなし型（投資一任サービス向け）</u>	—	G	G	
110	<u>野村インデックスファンド・米国株式配当貴族・為替ヘッジ型</u>	—	G	G	
111	<u>はじめてのNISA・全世界株式インデックス（オール・カントリー）</u>	NR	G	G	
112	<u>野村米国株式S&P500インデックスファンド（確定拠出年金向け）</u>	NR	G	G	
113	<u>はじめてのNISA・米国株式インデックス（S&P500）</u>	—	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

インデックス（債券）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
114	野村インデックスファンド・国内債券	NR	G	G	P.43
115	野村日本債券インデックス（野村投資一任口座向け）	—	Y	G	
116	野村日本債券インデックス（野村SMA向け）	—	Y	G	
117	野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）	—	Y	G	
118	野村国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合（確定拠出年金向け）	—	G	G	
119	野村DC国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合	—	G	G	
120	野村国内債券インデックスファンド	—	G	G	
121	野村日本債券インデックスファンド	—	G	G	
122	野村円債投資インデックスファンド	—	G	G	
123	野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）	NR	Y	G	P.44
124	野村インデックスファンド・外国債券	NR	G	G	
125	野村外国債券バッシブファンド（確定拠出年金向け）	—	G	G	
126	野村外国債券インデックス Bコース（野村投資一任口座向け）	—	G	G	
127	野村外国債券インデックス（野村SMA向け）	—	G	G	
128	野村外国債券インデックス Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
129	野村外国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）	—	G	G	
130	野村DC外国債券インデックスファンド	—	G	G	
131	野村インデックスファンド・外国債券・為替ヘッジ型	—	G	G	
132	野村外国債券インデックス Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
133	野村外国債券インデックス Aコース（野村投資一任口座向け）	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
134	野村外国債券インデックスファンド	—	G	G	
135	野村新興国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）	NR	G	G	
136	野村インデックスファンド・新興国債券・為替ヘッジ型	—	G	G	
137	野村インデックスファンド・新興国債券	NR	G	G	
138	野村DC新興国債券（現地通貨建て）インデックスファンド	—	G	G	
139	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券	NR	Y	G	P.45
140	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券・為替ヘッジ型	—	Y	G	

インデックス（不動産投信）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
141	野村インデックスファンド・J-REIT	NR	G	G	
142	野村J-REITインデックス（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
143	野村インデックスファンド・外国REIT	NR	G	G	
144	野村インデックスファンド・外国REIT・為替ヘッジ型	—	G	G	
145	野村世界REITインデックス Bコース（野村投資一任口座向け）	NR	G	G	
146	野村世界REITインデックス（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
147	野村世界REITインデックスファンド（確定拠出年金向け）	—	G	G	
148	野村世界REITインデックス Aコース（野村投資一任口座向け）	—	G	G	

インデックス（ブルベア）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
149	スーパー ボンド ベア オープン 4	NR	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2025年3月末）

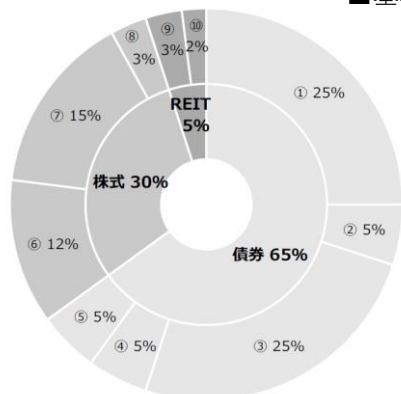
No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
44	多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）	NR	Y	G	

戦略の概要

- 国内および外国の株式・債券・不動産投資信託証券（REIT）を主要投資対象とします。
- 各資産への基本投資割合を定め、原則として毎月、リバランス※を行い、各資産の月次リターンに、各資産への基本投資割合を掛け合わせた合成指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。

※ 相場変動などにより変化した投資比率を調整すること

■基本投資割合■



①国内債券	25%
②外国債券為替ヘッジなし	5%
③外国債券為替ヘッジあり	25%
④新興国債券為替ヘッジなし	5%
⑤新興国債券為替ヘッジあり	5%
⑥国内株式	12%
⑦外国株式為替ヘッジなし	15%
⑧新興国株式為替ヘッジなし	3%
⑨国内REIT	3%
⑩外国REIT	2%

評価の根拠

平均保有期間

No	ファンド名	平均保有期間
44	多資産分散投資ファンド（バランス10） （確定拠出年金向け）	3.0年

課題認識

- 多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）は、平均保有期間の水準が短く、同類ファンドと比較しても短期の保有期間となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）は、ファンドの設定解約による資金動向に注視してまいります。

インデックス（日経225）

（評価基準日: 2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
77	積立て株式ファンド	NR	Y	G	■
78	株式インデックス 225	—	G	G	■
79	ミリオン（インデックスポートフォリオ）	—	G	G	■
80	野村インデックスファンド・日経225	—	Y	G	■

戦略の概要

- 配当込みの日経平均株価（日経225）の値動きを示す「日経平均トータルリターン・インデックス」と連動する投資成果を目標として運用を行います。
- 「日経平均トータルリターン・インデックス」に採用されている銘柄の中から、原則として200銘柄以上に分散投資を行います。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
77	積立て株式ファンド	0.79%	0.48%

平均保有期間

No	ファンド名	平均保有期間
80	野村インデックスファンド・日経225	1.0年

課題認識

- 積立て株式ファンドは、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。
- 野村インデックスファンド・日経225は、平均保有期間の水準が短く、同類ファンドと比較しても短期の保有期間となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 積立て株式ファンドでは、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。
- 野村インデックスファンド・日経225では、ファンドの設定解約による資金動向に注視してまいります。

インデックス（国内債券）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
114	野村インデックスファンド・国内債券	NR	G	G	
115	野村日本債券インデックス（野村投資一任口座向け）	—	Y	G	
116	野村日本債券インデックス（野村SMA向け）	—	Y	G	
117	野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）	—	Y	G	
118	野村国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合（確定拠出年金向け）	—	G	G	

戦略の概要

- ・NOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ・対象インデックスや投資対象の特性を基に、原則として、対象インデックスの構成銘柄に投資することにより、連動性が高いと考えられるポートフォリオを構築します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
115	野村日本債券インデックス（野村投資一任口座向け）	0.24%	0.17%
116	野村日本債券インデックス（野村SMA向け）	0.24%	0.17%
117	野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）	0.24%	0.17%

課題認識

- ・野村日本債券インデックス（野村投資一任口座向け）、野村日本債券インデックス（野村SMA向け）および野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ・上記3ファンドでは、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

インデックス（日本国債）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
123	野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）	NR	Y	G	

戦略の概要

- NOMURA-BPI国債の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- 対象インデックスや投資対象の特性を基に、原則として、対象インデックスの構成銘柄に投資することにより、連動性が高いと考えられるポートフォリオを構築します。

課題認識

- 野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
123	野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）	0.33%	0.14%

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）は、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

インデックス（米国ハイ・イールド債券）

（評価基準日：2025年3月末）

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
139	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券	NR	Y	G	
140	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券・為替ヘッジ型	—	Y	G	

戦略の概要

- 米ドル建てのハイ・イールド社債を主要投資対象とし、ブルームバーグ米国ハイ・イールド社債高流動性インデックスの中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。
- 対象インデックスや投資対象の特性を基に、原則として、対象インデックスの構成銘柄に投資することにより、連動性が高いと考えられるポートフォリオを構築します。

課題認識

- 野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券、および野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券・為替ヘッジ型は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
139	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券	0.91%	0.63%
140	野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券・為替ヘッジ型	0.91%	0.63%

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券、および野村インデックスファンド・米国ハイ・イールド債券・為替ヘッジ型は、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

ファンド・レビュー結果

外部委託（株式・不動産投信）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
1	ノムラファンドマスターズ日本小型株	G	G	G	
2	ノムラ THE NIPPON	Y	Y	G	P.53
3	マイストーリー・日本株100	G	G	G	
4	ノムラファンドマスターズ日本株	—	G	G	
5	マイストーリー・日本株100（確定拠出年金向け）	—	G	G	
6	野村アバンティス新興国株ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	NR	G	G	
7	野村アバンティス新興国株ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
8	野村新興国消費関連株投信	G	G	G	
9	ノムラファンドマスターズ新興国株 Bコース	G	G	G	
10	ノムラ新興国株ファンズ Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
11	ノムラ新興国株ファンズ Bコース（野村SMA向け）	—	G	G	
12	ノムラファンドマスターズ新興国株 Aコース	—	G	G	
13	ノムラ新興国株ファンズ Aコース（野村SMA向け）	—	G	G	
14	ノムラ新興国株ファンズ Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
15	ウェリントン・企業価値共創世界株ファンド Bコース	NR	G	G	
16	ウェリントン・企業価値共創世界株ファンド Aコース	—	G	G	
17	グローバル・ストック Bコース	G	G	G	
18	グローバル・ストック Dコース	—	G	G	
19	グローバル・ストック Aコース	—	G	G	
20	グローバル・ストック Cコース	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
21	野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース（野村SMA・EW向け）	NR	G	G	
22	野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
23	野村アバンティス世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	NR	G	G	
24	野村アバンティス世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
25	野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース（野村SMA・EW向け）	G	G	G	
26	野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
27	野村ハリス外国株式バリュー戦略ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	G	G	G	
28	野村ハリス外国株式バリュー戦略ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
29	野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	NR	G	G	
30	野村フランチャイズ・パートナーズ・世界株式ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
31	ハッピーライフファンド・株100	G	G	G	
32	マイストーリー・株100	—	G	G	
33	マイストーリー・株100（確定拠出年金向け）	—	G	G	
34	野村ユーロ・トップ・カンパニー Bコース	G	G	G	
35	野村ユーロ・トップ・カンパニー Aコース	—	G	G	
36	野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型	NR	G	G	
37	野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	—	G	G	
38	野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	—	G	G	
39	野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型	—	G	G	
40	野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）年2回決算型	NR	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

外部委託（株式・不動産投信）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
41	野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）毎月分配型	—	G	G	
42	野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	—	G	G	
43	野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	—	G	G	
44	世界フード関連株式オープン	G	G	G	
45	野村ACI先進医療インパクト投資 Bコース 為替ヘッジなし 資産成長型	G	G	Y	P.54
46	野村ACI先進医療インパクト投資 Dコース 為替ヘッジなし 予想分配金提示型	—	G	Y	
47	野村ACI先進医療インパクト投資 Aコース 為替ヘッジあり 資産成長型	—	G	Y	
48	野村ACI先進医療インパクト投資 Cコース 為替ヘッジあり 予想分配金提示型	—	G	Y	
49	野村アクア投資 Bコース	G	G	G	
50	野村アクア投資 Aコース	—	G	G	
51	野村環境リーダーズ戦略ファンド Bコース	G	G	G	
52	野村環境リーダーズ戦略ファンド Aコース	—	G	G	
53	野村クラウド関連株式投信 Bコース（為替ヘッジなし）	G	G	G	
54	野村クラウド関連株式投信 Aコース（為替ヘッジあり）	—	G	G	
55	野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジなし）年2回決算型	G	G	G	
56	野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジなし）毎月分配型	—	G	G	
57	野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジあり）年2回決算型	—	G	G	
58	野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信（為替ヘッジあり）毎月分配型	—	G	G	
59	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース	G	G	G	
60	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
61	野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース	G	G	G	
62	野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース	—	G	G	
63	米国エネルギー革命関連ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	G	G	G	
64	米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジなし	—	G	G	
65	米国エネルギー革命関連ファンド Aコース（為替ヘッジあり）	—	G	G	
66	米国エネルギー革命関連ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり	—	G	G	
67	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）	G	G	G	
68	モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）	—	G	G	
69	ワールド・ウォーター・ファンド Bコース	G	G	G	
70	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース	—	G	G	
71	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース	NR	G	G	P.55
72	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース	—	G	G	
73	ノムラ THE USA Bコース	G	G	G	
74	ノムラ THE USA Aコース	—	G	G	
75	野村アバンティス米国小型株ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	NR	G	G	
76	野村アバンティス米国小型株ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
77	野村米国ブランド株投資（米ドルコース）年2回決算型	G	G	G	
78	野村米国ブランド株投資（米ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
79	野村米国ブランド株投資（円コース）年2回決算型	—	G	G	
80	野村米国ブランド株投資（円コース）毎月分配型	—	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

外部委託（株式・不動産投信）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
81	米国バリュー・ストラテジー・ファンド Bコース	G	G	G	
82	米国バリュー・ストラテジー・ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
83	米国バリュー・ストラテジー・ファンド Aコース	—	G	G	
84	米国バリュー・ストラテジー・ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
85	ラップ専用・グローバルREITアクティブ	NR	G	G	
86	グローバルREITオープン	G	G	G	
87	グローバルREITオープン（資産成長型）	—	G	G	
88	野村世界REITファンド Bコース（野村SMA向け）	G	G	G	
89	野村世界REITファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
90	野村世界REITファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
91	野村世界REITファンド Aコース（野村SMA向け）	—	G	G	
92	野村世界不動産投信	G	G	G	
93	ノムラ日米REITファンド	G	G	G	
94	野村ブラックロック世界REITファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	G	G	G	
95	野村ブラックロック世界REITファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
96	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	NR	Y	G	P.56
97	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	—	Y	G	
98	野村グローバルREITプレミアム（円コース）年2回決算型	—	G	G	
99	野村グローバルREITプレミアム（円コース）毎月分配型	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

外部委託（債券）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
100	野村豪州債券ファンド（年2回決算型）	G	G	G	
101	野村豪州債券ファンド（毎月分配型）	—	G	G	
102	野村豪州債券ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
103	野村豪州債券ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
104	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（アジア通貨コース）毎月分配型	NR	G	G	
105	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（資源国通貨コース）毎月分配型	—	G	G	
106	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（米ドルコース）年2回決算型	—	G	G	
107	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（米ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
108	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（円コース）年2回決算型	—	G	G	
109	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（円コース）毎月分配型	—	G	G	
110	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（アジア通貨コース）年2回決算型	—	G	G	
111	野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信（資源国通貨コース）年2回決算型	—	G	G	
112	野村新興国債券投信Bコース（毎月分配型）	Y	G	G	P.57
113	野村新興国債券投信Aコース（毎月分配型）	—	G	G	
114	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA・EW向け）	G	Y	G	P.58
115	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA向け）	—	Y	G	
116	野村グローバル・クレジット・ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	G	G	G	
117	野村グローバル・クレジット・ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
118	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	G	G	G	
119	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（資源国通貨コース）年2回決算型	—	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

外部委託（債券）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
120	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（資源国通貨コース）毎月分配型	—	G	G	
121	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（アジア通貨コース）毎月分配型	—	G	G	
122	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	—	G	G	
123	野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（アジア通貨コース）年2回決算型	—	G	G	
124	野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	R	G	G	P.59
125	野村テンブルトン・トータル・リターン Dコース	—	G	G	
126	野村テンブルトン・トータル・リターン Aコース	—	G	G	
127	野村テンブルトン・トータル・リターン Cコース	—	G	G	
128	ノムラファンドマスターズ世界債券Bコース	G	G	G	
129	ノムラファンドマスターズ世界債券Aコース	—	G	G	
130	野村為替ヘッジ付き世界債券ファンド（野村SMA・EW向け）	R	G	G	P.60
131	欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円コース）	G	G	G	
132	欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（豪ドルコース）	—	G	G	
133	欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース）	—	G	G	
134	ノルディック社債ファンド 為替ヘッジなし	G	G	G	
135	ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	—	G	G	
136	野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	NR	G	G	
137	野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	—	G	G	
138	野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	—	G	G	
139	野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
140	野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	NR	G	G	
141	野村エマージング債券プレミアム年2回決算型	—	G	G	
142	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース	G	G	G	P.61
143	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Dコース	—	G	G	
144	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
145	野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド（為替ヘッジなし）	—	G	G	
146	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	—	G	G	
147	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Cコース	—	G	G	
148	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Eコース	—	G	G	
149	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Fコース	—	G	G	
150	野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド（為替ヘッジあり）	—	Y	G	
151	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
152	野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）年2回決算型	Y	G	G	P.62
153	野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）毎月分配型	—	G	G	
154	野村アジアハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型	NR	G	G	
155	野村アジアハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型	—	G	G	
156	野村アジアハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
157	野村アジアハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	—	G	G	
158	野村アジアハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	—	G	G	
159	野村アジアハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型	—	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

外部委託（債券）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
160	野村アジアハイ・イールド債券投信（アジア通貨セレクトコース）年2回決算型	—	G	G	
161	野村アジアハイ・イールド債券投信（アジア通貨セレクトコース）毎月分配型	—	G	G	
162	野村米国好利回り社債投信 Bコース	G	G	G	
163	野村米国好利回り社債投信 Dコース	—	G	G	
164	野村米国好利回り社債投信 Aコース	—	G	G	
165	野村米国好利回り社債投信 Cコース	—	G	G	
166	高利回り社債オープン	G	G	G	P.63
167	野村米国ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）	—	G	G	
168	高利回り社債オープン・為替ヘッジ	—	G	G	
169	野村米国ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり	—	G	G	
170	高利回り社債オープン（年1回決算型）	—	G	G	
171	野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）	—	G	G	
172	高利回り社債オープン・為替ヘッジ（年1回決算型）	—	G	G	
173	野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり	—	Y	G	
174	ラップ専用・米国ハイ・イールド債券アクティブ	—	G	G	
175	野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型	G	G	G	
176	野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
177	野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	—	G	G	
178	野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	—	G	G	
179	野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
180	野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型	—	G	G	
181	野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	—	G	G	
182	野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	—	G	G	
183	野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型	—	G	G	
184	野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型	—	G	G	
185	野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型	—	G	G	
186	野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型	—	G	G	
187	野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型	—	G	G	
188	野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型	—	G	G	
189	ハイ・イールド ボンド オープンBコース（野村SMA向け）	G	G	G	P.64
190	ハイ・イールド ボンド オープン Bコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
191	ハイ・イールド ボンド オープンAコース（野村SMA向け）	—	Y	G	
192	ハイ・イールド ボンド オープン Aコース（野村SMA・EW向け）	—	G	G	
193	ブランディワイン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジなし）	NR	G	G	
194	ブランディワイン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）	—	G	G	

外部委託（マルチアセット）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
195	インデックス・ブレンド（タイプⅠ）	NR	G	G	
196	インデックス・ブレンド（タイプⅡ）	NR	G	G	
197	インデックス・ブレンド（タイプⅢ）	NR	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

外部委託（マルチアセット）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
198	インデックス・ブレンド（タイプⅣ）	NR	G	G	
199	インデックス・ブレンド（タイプⅤ）	NR	G	G	
200	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル1	NR	Y	G	P.65
201	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル2	NR	Y	G	P.66
202	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル3	NR	Y	G	P.67
203	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル4	NR	Y	G	P.68
204	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル5	NR	Y	G	P.69
205	野村カルミニャック・ファンド Bコース	G	Y	G	P.70
206	野村カルミニャック・ファンド Aコース	—	Y	G	
207	のむラップ・ファンド（積極型）	G	G	G	
208	のむラップ・ファンド（普通型）	G	G	G	
209	のむラップ・ファンド（普通型）年3%目標分配金受取型	—	G	G	
210	のむラップ・ファンド（普通型）年6%目標分配金受取型	—	G	G	
211	のむラップ・ファンド（保守型）	G	G	G	
212	のむラップ・ファンド（やや積極型）	G	G	G	
213	のむラップ・ファンド（やや保守型）	G	G	G	
214	マイ・ロード	G	G	G	
215	マイライフ・エール（資産成長型）	NR	G	G	
216	マイライフ・エール（年6%目標払出型）	—	G	G	
217	マイライフ・エール（年2%目標払出型）	—	G	G	

目次

プロダクトガバナンスの枠組み

ファンド・レビューの結果

サマリー

アクティブ

インデックス

外部委託

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
218	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジなし）年2回決算型	Y	G	G	P.71
219	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジなし）隔月分配型	—	G	G	
220	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）年2回決算型	—	G	G	
221	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）隔月分配型	—	Y	G	
222	世界三資産バランスファンド	G	G	G	
223	ノムラ・オールインワン・ファンド	Y	Y	G	P.72
224	ノムラ・グローバル・オールスターズ	G	Y	G	P.73
225	ハッピーライフファンド・株50	Y	G	G	P.74
226	マイストーリー・株50	—	G	G	
227	マイストーリー・株50（確定拠出年金向け）	—	G	G	
228	マイストーリー・株25	Y	G	G	P.75
229	マイストーリー・株25（確定拠出年金向け）	—	G	G	
230	ハッピーライフファンド・株25	—	G	G	
231	マイストーリー・株75	G	G	G	
232	マイストーリー・株75（確定拠出年金向け）	—	G	G	
233	マイストーリー分配型（年6回）Bコース	G	G	G	
234	マイストーリー分配型（年6回）Aコース	—	G	G	

R 改善すべき点が認められます。 **Y** 改善を検討すべき点が認められます。 **G** 価値提供に向けた取り組みが認められます。 **NR** 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ファンド・レビュー結果

外部委託（その他）

No.	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	掲載頁
235	<u>ダブル・ブレイン</u>	NR	G	G	
236	<u>ダブル・ブレイン（ブル）</u>	NR	G	G	
237	<u>ダブル・ブレイン（マイルド）</u>	NR	G	G	
238	<u>ダブル・ブレイン・コア（スタンダード）</u>	NR	G	G	
239	<u>ダブル・ブレイン・コア（ブル）</u>	NR	G	G	
240	<u>ダブル・ブレイン・コア（マイルド）</u>	NR	G	G	
241	<u>野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース</u>	NR	G	G	P.76
242	<u>野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース</u>	—	G	G	
243	<u>野村PIMCO・トレンド戦略ファンド（米ドル売り円買い）（野村SMA・EW向け）</u>	—	Y	G	
244	<u>野村グローバル・アセット・モデル・ファンド（野村SMA・EW向け）</u>	NR	G	G	
245	<u>野村ブルーベイ・トータルリターンファンド（野村SMA・EW向け）</u>	NR	Y	G	P.77

[目次](#)
[プロダクトガバナンスの枠組み](#)
[ファンド・レビューの結果](#)
[サマリー](#)
[アクティブ](#)
[インデックス](#)
[外部委託](#)

R 改善すべき点が認められます。
 Y 改善を検討すべき点が認められます。
 G 価値提供に向けた取り組みが認められます。
 NR 評価対象外です。

各ファンドの投資リスク、費用等については、ファンド名のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

ノムラ THE NIPPON

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
2	ノムラ THE NIPPON	Y	Y	G	

戦略の概要

- わが国の株式を投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とします。
- 投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。
- 買い建てによるロング・ポジションだけではなく、売り建てによるショート・ポジションも構築して積極的に収益の獲得を目指すロング・ショート戦略に基づく運用を行う投資信託証券に投資を行う場合があります。
- 投資する投資信託証券の選定、見直し、投資比率の決定にあたっては、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）からの助言を受けます。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★	★★
	Japan Fund Japan Large-Cap Growth Equity			
Fundmark	☆☆	☆☆	☆☆	
	国内株式/一般/フリー			

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
2	ノムラ THE NIPPON	1.98%	1.64%

課題認識

【運用実績】

- 日本株運用において実績のあるマネージャー（運用会社）が運用する複数のファンドへ投資を行いますが、中小型銘柄や高い成長が期待される銘柄を多く組み入れるファンドを選定しており、大型株や割安株が主導する市場環境では競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。

【商品性】

- 当ファンドは、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

【運用実績】

- 投資先ファンドの1つであるノムラ-T&D J Flag日本株マザーファンドでは、これまでの中小型銘柄に加え、価格競争力の強い大型株やブランド力の高い企業等への投資も検討するようにしました。
- 様々な投資環境の変化に対応するためにノムラ・ジャパン・オープンマザーファンドを新たに投資対象ファンドに加えました。今後も投資先ファンドの追加や入れ替えなどを通じてパフォーマンスの改善に努めてまいります。

【商品性】

- 当ファンドは、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

野村ACI先進医療インパクト投資

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名				運用実績	商品性	情報提供	当社HP
45	野村ACI先進医療インパクト投資	Bコース	為替ヘッジなし	資産成長型	G	G	Y	
46	野村ACI先進医療インパクト投資	Dコース	為替ヘッジなし	予想分配金提示型	—	G	Y	
47	野村ACI先進医療インパクト投資	Aコース	為替ヘッジあり	資産成長型	—	G	Y	
48	野村ACI先進医療インパクト投資	Cコース	為替ヘッジあり	予想分配金提示型	—	G	Y	

戦略の概要

- 世界各国（新興国を含みます。）の先進医療関連企業※の株式を主要投資対象とします。

※「先進医療関連企業」とは、製薬、バイオテクノロジー、医療機器、医療・健康サービス関連企業等のうち、先進的な技術の発見・開発や、先進的な医療サービスの提供に寄与するもしくはその恩恵を受けると考えられる企業等のことをいいます。

- 株式への投資にあたっては、インパクト投資※およびESGの観点を考慮することを基本とします。

※インパクト投資とは、投資を行う際に経済的なリターンに加え、社会に有益な影響（インパクト）を与えることを意図して行われる投資行動です。

- 組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ分析を行います。
- リスク特性、銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。
- 運用にあたっては、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク（ACI）に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

課題認識

- 野村ACI先進医療インパクト投資は、ESGファンドですが、運用報告書におけるインパクト投資の達成状況に関する説明の充実度に関して改善を検討すべき点が見られました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- インパクト投資の達成状況について具体的な記載を運用報告書に追加し、開示内容の充実を図ります。

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
71	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース	NR	G	G	
72	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース	—	G	G	

戦略の概要

- 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業※の株式への投資を通じて、高度なイノベーション技術を活用し人々の健康を支援する企業群へ投資を行います。また、同銘柄への投資比率は純資産総額の3分の2以上を維持することを基本とします。
※分子生物学から派生した生命工学技術の基礎研究と製品化プロセスを確立した企業・生命工学技術を医薬品、農畜産物およびその他の化学製品分野へ応用する研究・開発型企业とします。
- 原則として企業価値に占めるバイオテクノロジー関連ビジネスの事業価値の割合が50%以上の企業を投資対象とします。
- 運用にあたっては、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
中位	下位	下位（劣後）

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	—	—	—	—
	Japan Fund World Specialty Equity			
Fundmark	☆☆☆	☆☆	☆	
	海外株式/業種・テーマ/バイオ・ヘルスケア/原則ヘッジなし			

課題認識

- ライフサイエンスからヘルスケアまでの広範な分野から、バイオテクノロジー分野での成長が見込まれる有望な企業を医学・薬学的視点から調査し投資します。
- バイオテクノロジーというテーマに特化した運用を行う中で、バイオテクノロジー関連株式は金利感応度が相対的に高く、2015年末以降から数年にわたる段階的な上昇局面、2021年以降に長期金利が急激に上昇する局面で医薬や医療機器関連の株式を含む幅広いヘルスケアのテーマに投資する競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。
- 当ファンドの競合比較対象には、ヘルスケア等、バイオテクノロジー分野以外の株式に投資しているファンドが多く含まれております。そのため、比較対象の同質性の観点から当ファンドをYellow（黄）評価とすることは適切ではないと判断し、運用実績評価をNR（Not Rated：評価対象外）としています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 当ファンドは治療薬の開発力などに着目した銘柄選定を行っており、バイオテクノロジー関連企業へ投資する方針に整合的な運用が行われています。
- バイオテクノロジー関連企業への投資においては、①画期的な治療薬の開発の進展、②バイオテクノロジー関連企業をターゲットとしたM&A（合併・買収）の2点が、今後のパフォーマンスをけん引する重要なポイントであると考えており、有望な治療薬候補や高い技術力を有する銘柄の探求に今後も努めてまいります。

野村グローバルREITプレミアム

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
96	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	NR	Y	G	
97	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	—	Y	G	
98	野村グローバルREITプレミアム（円コース）年2回決算型	—	G	G	
99	野村グローバルREITプレミアム（円コース）毎月分配型	—	G	G	

戦略の概要

- 世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREIT（不動産投資信託証券）等を主要投資対象とします。
- 加えて、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す「REIT プレミアム戦略」を実質的に活用します。
- 投資先の外国籍投信における、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）より助言を受けます。

課題認識

- 野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型、野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型は、同類ファンドと比較して経費率がその中央値を大きく超過しています。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
96	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	2.70%	1.97%
97	野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	2.70%	1.97%

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型、野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型は、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

野村新興国債券投信

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
112	野村新興国債券投信Bコース（毎月分配型）	Y	G	G	
113	野村新興国債券投信Aコース（毎月分配型）	—	G	G	

戦略の概要

- ・エマージング・カン트리※の政府、政府機関、もしくは企業の発行する債券（エマージング・マーケット債）を主要投資対象とします。

※いわゆる先進工業国や最貧国などを除く諸国で、一般に新興経済国、発展途上国、中所得国および低所得国などと認識される国々をいいます。

- ・通常の優良格付を有する債券に比べ高水準のインカムゲインの確保に加え、金利や為替、信用力など投資環境の好転等によるキャピタルゲインの獲得を目指します。
- ・運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク（NCRAM）に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★★	★★★
	Japan Fund Global Emerging Markets Bond			
Fundmark	☆☆	☆☆☆	☆☆	
	海外債券/エマージング/米ドル建/原則ヘッジなし			

課題認識

- ・市場の不確実性が高まっている局面において、リスクを抑制するために当ファンドの現金比率を高めていたなど、ディフェンシブなポジショニングが影響し、競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ・長期でみれば当ファンドの戦略は引き続き有効とみており、投資環境が様々に変化することにも対応しつつ、パフォーマンスの改善に向けて取り組んでまいります。

ノムラ新興国債券ファンズ

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
114	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA・EW向け）	G	Y	G	
115	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA向け）	—	Y	G	

戦略の概要

- 新興国債券※に実質的に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。
※新興国の国債、政府保証債、政府機関債、もしくは企業の発行する債券を指します。
- 新興国債券に実質的に投資する投資信託証券への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。
- 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）が投資信託証券の評価等をし、運用に関する助言を行います。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
114	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA・EW向け）	1.26%	0.99%
115	ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA向け）	1.23%	0.99%

課題認識

- ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA・EW向け）、およびノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA向け）は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA・EW向け）、およびノムラ新興国債券ファンズ（野村SMA向け）は、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

野村テンプレトン・トータル・リターン

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
124	野村テンプレトン・トータル・リターン Bコース	R	G	G	
125	野村テンプレトン・トータル・リターン Dコース	—	G	G	
126	野村テンプレトン・トータル・リターン Aコース	—	G	G	
127	野村テンプレトン・トータル・リターン Cコース	—	G	G	

戦略の概要

- ・新興国を含む世界各国の債券（国債、政府機関債、社債等。現地通貨建てを含みます。）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。
- ・投資適格および非投資適格の債券に投資を行います。
- ・モーゲージ証券、アセットバック証券、転換社債等に投資を行う場合があります。
- ・効率的な運用を行うために、債券先物、為替予約、為替先渡取引、スワップ取引やオプション取引等の金融デリバティブ取引も活用します。
- ・フランクリン・アドバイザーズ・インクが実質的な運用を行います。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位（劣後）

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★	★★
	Japan Fund World Bond			
Fundmark	☆☆	☆☆	☆	
	海外債券/グローバル/日本含む/原則ヘッジなし			

課題認識

- ・2019年の新興国債券市場が下落した局面や2020年のコロナ禍で債券市場が下落した局面では、主に通貨の動きを捉えることに苦戦しました。
- ・その後、金利上昇リスクへの対応やリスク配分の見直しといった取り組みは、パフォーマンス改善に寄与しました。しかし、2024年の米国大統領選挙結果を受けてドル高が進行したことで、選好していた非米ドル通貨のポジションがパフォーマンスにマイナスとなりました。
- ・主に通貨のパフォーマンスのマイナスが大きかったことに加えて、近年の良好なクレジット環境を背景に社債やハイイールド債券などのクレジット・セクターを中心に投資する競合ファンドのパフォーマンスが良く、新興国を含む各国の国債市場への分散投資を行う当ファンドは競合ファンドと比較して長期間のパフォーマンスが劣後しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ・投資先ファンドの運用会社のファンダメンタルズ分析に基づいて、通貨戦略でマイナスに働いたポジションの一部を解消し、対米ドルで割安感が強いと見通しを持つ複数のポジションへ入れ替えを行いました。引き続き利回りが相対的に高い一部の新興国の現地通貨建て債券を保有し、ポートフォリオ全体で高めの利回りを目指す方針です。上記の対応方針のもと、2025年初からのパフォーマンスおよび競合比は改善傾向にあります。
- ・当社も通貨戦略でマイナスに働いた理由を認識しており、金利、通貨および債券発行体等の信用力へのリスク配分が適切に反映されているかを当社は今後もモニタリングしてまいります。

野村為替ヘッジ付き世界債券ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
130	野村為替ヘッジ付き世界債券ファンド（野村SMA・EW向け）	R	G	G	

戦略の概要

- 世界各国の公社債に実質的に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目標に運用を行います。
- わが国の公社債およびわが国の公社債に代替しうる債券※に実質的に投資する投資信託証券を中心に投資を行います。
※「わが国の公社債に代替しうる債券」とは、対円で為替ヘッジを用いて為替変動リスクを低減させた形態で投資する世界各国の公社債を指します。
- 投資する投資信託証券の選定、見直し、投資比率の決定にあたっては、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）からの助言を受けます。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位（劣後）	－	－

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	－	－	★★
	Japan Fund World Bond - JPY Hedged			
Fundmark	☆	－	－	
	海外債券/グローバル/日本含む/フルヘッジ			

課題認識

- 2022年に世界的な金利上昇で為替ヘッジ付き外国債券のリターンが大きく下落した一方、2024年は国内の金利上昇により国内債券のリターンが相対的に低迷しました。
- 当ファンドは為替ヘッジコスト※が高水準であることを踏まえ2023年以降に国内債券への配分を高めたことがマイナスに影響し、競合ファンド（為替ヘッジ付き外国債券）との比較で劣後しました。
※ 為替ヘッジを行う際に発生する金利差分のコスト
- 国内外の国債などの公社債を中心に組み入れ、主に金利動向を踏まえて運用しますが、左下で示す2つの投信分類では社債やハイイールド債券など発行体の信用力動向にも着目するファンドが含まれており、それらを組み入れるファンドのパフォーマンスが良好に推移したことなどにより今回の評価となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 長期的な見通しに加え、将来の見通しをより機動的に反映できるようにし、あわせて日本債券と外国債券の配分変更も見通しに沿って対応できるようにすることでパフォーマンスの改善に取り組んでまいります。
- 上記の見通しに基づく配分変更が適切に行われているかをモニタリングしてまいります。

野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
142	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース	G	G	G	
143	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Dコース	—	G	G	
144	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Bコース (野村SMA・EW向け)	—	G	G	
145	野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド (為替ヘッジなし)	—	G	G	
146	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	—	G	G	

戦略の概要

- 世界各国（新興国を含みます。）の債券等（国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券、ハイ・イールド債券、企業向け貸付債権（バンクローン）等）および派生商品等を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。
- パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー（PIMCO）が実質的な運用を行います。

評価の根拠

平均保有期間

No	ファンド名	平均保有期間
150	野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド (為替ヘッジあり)	1.8年

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
147	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Cコース	—	G	G	
148	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Eコース	—	G	G	
149	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド 為替ナビ Fコース	—	G	G	
150	野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド (為替ヘッジあり)	—	Y	G	
151	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース (野村SMA・EW向け)	—	G	G	

課題認識

- 野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド（為替ヘッジあり）は、平均保有期間の水準が短く、同類ファンドと比較しても短期の保有期間となりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村DC・PIMCO・世界インカム戦略ファンド（為替ヘッジあり）については、ファンドの設定解約による資金動向に注視してまいります。

野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
152	野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）年2回決算型				
153	野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）毎月分配型	—			

戦略の概要

- 米ドル建ての米国投資適格債券等（米国債、米国政府関連債、社債、モーゲージ関連証券、資産担保证券、優先証券等）および派生商品等を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。
- 原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー（PIMCO）が実質的な運用を行います。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	—

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★★	★★	—	★★
	Japan Fund US Bond - JPY Hedged			
Fundmark	☆☆	☆☆	—	
	海外債券/北米通貨建/米ドル建一般/フルヘッジ			

課題認識

- この評価期間ではハイ・イールド債券などリスク水準の高い債券に主に投資するファンドのパフォーマンスが好調でした。
- 米国の国債やモーゲージ関連証券などの投資適格債券に投資し安定したパフォーマンスを目指した当ファンドは競合に比べて劣後しました。
- また、当ファンドの残高が減少傾向にある中、十分に効率的な運用を行うことが難しくなっていることも、パフォーマンスを押し下げる要因になりました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 残高が減少傾向にあった中、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託について信託期間終了までの運用継続が困難であることから繰上償還することが決定されました。
- 実質的な投資対象やリスク水準が近く、信託報酬の水準からパフォーマンスの改善を期待できるインデックスファンドへ投資対象を変更する書面決議手続きを行っています。

野村米国ハイ・イールド・ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
166	高利回り社債オープン	G	G	G	
167	野村米国ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）	—	G	G	
168	高利回り社債オープン・為替ヘッジ	—	G	G	
169	野村米国ハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）為替ヘッジあり	—	G	G	
170	高利回り社債オープン（年1回決算型）	—	G	G	

戦略の概要

- 米国ドル建ての高利回り事業債（ハイ・イールド・ボンド）を主要投資対象とし、中長期的に、高水準のインカムゲインの確保に加えキャピタルゲインの獲得を目指します。
- 投資するハイ・イールド・ボンドは主としてBB格相当以下の格付が付与されているもの（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。）とします。
- 運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント・インク（NCRAM）に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
173	野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり	2.22%	1.76%

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
171	野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）	—	G	G	
172	高利回り社債オープン・為替ヘッジ（年1回決算型）	—	G	G	
173	野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）為替ヘッジあり	—	Y	G	
174	ラップ専用・米国ハイ・イールド債券アクティブ	—	G	G	

課題認識

- 野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）為替ヘッジありは、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村米国ハイ・イールド・ファンド（年1回決算型）為替ヘッジありは、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

ハイ・イールド ボンド オープン

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
189	ハイ・イールド ボンド オープンBコース (野村SMA向け)	G	G	G	
190	ハイ・イールド ボンド オープン Bコース (野村SMA・EW向け)	—	G	G	
191	ハイ・イールド ボンド オープンAコース (野村SMA向け)	—	Y	G	
192	ハイ・イールド ボンド オープン Aコース (野村SMA・EW向け)	—	G	G	

戦略の概要

- 米国の米国ドル建ての高利回り事業債（ハイ・イールド・ボンド）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。
- ハイ・イールド・ボンドのうち、主にBB格～B格相当の格付をもつ債券に投資します。なお、一部格付をもたない債券（BB格～B格相当の格付と判断される債券も含みます）に投資する場合があります。
- 運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント・インク（NCRAM）に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
191	ハイ・イールド ボンド オープンAコース (野村SMA向け)	1.30%	0.65%

課題認識

- ハイ・イールド ボンド オープンAコース（野村SMA向け）は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ハイ・イールド ボンド オープンAコース（野村SMA向け）は、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

ゴールベースラップ専用ファンド・レベル1

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
200	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル1	NR	Y	G	

戦略の概要

- 当社が投資一任業者として提供する資産運用サービス「ゴールベースラップ」に関する投資一任契約に基づき、ご投資される資金を運用するためのファンドです。
- 国内の株式、世界の株式、国内の債券、世界の債券を実質的な投資対象とするETFおよび不動産や商品などに対するエクスポージャーを持つETFを主要投資対象とします。
- ETFへの投資を通じた株式および不動産投資信託証券への投資配分比率の合計は、信託財産の純資産総額に対して30%を中心とすることを原則とします。
- 株式会社ウエルス・スクエアによる助言に基づいて投資対象とする上場投資信託証券および各上場投資信託証券への投資配分比率を決定します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
200	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル1	2.30%	0.99%

課題認識

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル1は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。当ファンドには、このファンド特有の投資一任に係る業務等の費用（税抜1.30%）がかかっていることが主な要因です。
(設定から3年未満のファンドは、平均保有期間は計測対象外としています。)

対応方針/改善に向けた取り組み

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル1は、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

ゴールベースラップ専用ファンド・レベル2

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
201	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル2	NR	Y	G	

戦略の概要

- 当社が投資一任業者として提供する資産運用サービス「ゴールベースラップ」に関する投資一任契約に基づき、ご投資される資金を運用するためのファンドです。
- 国内の株式、世界の株式、国内の債券、世界の債券を実質的な投資対象とするETFおよび不動産や商品などに対するエクスポージャーを持つETFを主要投資対象とします。
- ETFへの投資を通じた株式および不動産投資信託証券への投資配分比率の合計は、信託財産の純資産総額に対して45%を中心とすることを原則とします。
- 株式会社ウエルス・スクエアによる助言に基づいて投資対象とする上場投資信託証券および各上場投資信託証券への投資配分比率を決定します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
201	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル2	2.31%	0.99%

課題認識

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル2は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。当ファンドには、このファンド特有の投資一任に係る業務等の費用（税抜1.30%）がかかっていることが主な要因です。
(設定から3年未満のファンドは、平均保有期間は計測対象外としています。)

対応方針/改善に向けた取り組み

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル2は、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

ゴールベースラップ専用ファンド・レベル3

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
202	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル3	NR	Y	G	

戦略の概要

- 当社が投資一任業者として提供する資産運用サービス「ゴールベースラップ」に関する投資一任契約に基づき、ご投資される資金を運用するためのファンドです。
- 国内の株式、世界の株式、国内の債券、世界の債券を実質的な投資対象とするETFおよび不動産や商品などに対するエクスポージャーを持つETFを主要投資対象とします。
- ETFへの投資を通じた株式および不動産投資信託証券への投資配分比率の合計は、信託財産の純資産総額に対して65%を中心とすることを原則とします。
- 株式会社ウエルス・スクエアによる助言に基づいて投資対象とする上場投資信託証券および各上場投資信託証券への投資配分比率を決定します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
202	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル3	2.68%	0.99%

課題認識

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル3は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。当ファンドには、このファンド特有の投資一任に係る業務等の費用（税抜1.30%）がかかっていることが主な要因です。
(設定から3年未満のファンドは、平均保有期間は計測対象外としています。)

対応方針/改善に向けた取り組み

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル3は、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

ゴールベースラップ専用ファンド・レベル4

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
203	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル4	NR	Y	G	

戦略の概要

- 当社が投資一任業者として提供する資産運用サービス「ゴールベースラップ」に関する投資一任契約に基づき、ご投資される資金を運用するためのファンドです。
- 国内の株式、世界の株式、国内の債券、世界の債券を実質的な投資対象とするETFおよび不動産や商品などに対するエクスポージャーを持つETFを主要投資対象とします。
- ETFへの投資を通じた株式および不動産投資信託証券への投資配分比率の合計は、信託財産の純資産総額に対して75%を中心とすることを原則とします。
- 株式会社ウエルス・スクエアによる助言に基づいて投資対象とする上場投資信託証券および各上場投資信託証券への投資配分比率を決定します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
203	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル4	2.30%	0.99%

課題認識

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル4は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。当ファンドには、このファンド特有の投資一任に係る業務等の費用（税抜1.30%）がかかっていることが主な要因です。
(設定から3年未満のファンドは、平均保有期間は計測対象外としています。)

対応方針/改善に向けた取り組み

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル4は、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

ゴールベースラップ専用ファンド・レベル5

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
204	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル5	NR	Y	G	

戦略の概要

- 当社が投資一任業者として提供する資産運用サービス「ゴールベースラップ」に関する投資一任契約に基づき、ご投資される資金を運用するためのファンドです。
- 国内の株式、世界の株式、国内の債券、世界の債券を実質的な投資対象とするETFおよび不動産や商品などに対するエクスポージャーを持つETFを主要投資対象とします。
- ETFへの投資を通じた株式および不動産投資信託証券への投資配分比率の合計は、信託財産の純資産総額に対して85%を中心とすることを原則とします。
- 株式会社ウェルス・スクエアによる助言に基づいて投資対象とする上場投資信託証券および各上場投資信託証券への投資配分比率を決定します。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
204	ゴールベースラップ専用ファンド・レベル5	2.49%	0.99%

課題認識

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル5は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。当ファンドには、このファンド特有の投資一任に係る業務等の費用（税抜1.30%）がかかっていることが主な要因です。
(設定から3年未満のファンドは、平均保有期間は計測対象外としています。)

対応方針/改善に向けた取り組み

- ゴールベースラップ専用ファンド・レベル5は、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

野村カルミニャック・ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
205	野村カルミニャック・ファンド Bコース	G	Y	G	
206	野村カルミニャック・ファンド Aコース	—	Y	G	

戦略の概要

- 新興国を含む世界各国の株式、債券（国債、政府機関債、社債等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。
- 各投資対象資産への投資配分比率は、想定リスクと期待リターンの見通しやリスク分散、グローバルなマクロ経済環境の分析を踏まえて決定します。
- 各投資対象資産内での各投資対象へのエクスポージャーの決定は経済環境や各資産の市場環境に関する見通しや各投資対象に対する財務状況などの調査に基づいて行います。
- カルミニャック・ジェスティオン・ソシエテ・アノニムが実質的な運用を行います。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
205	野村カルミニャック・ファンド Bコース	2.35%	1.55%
206	野村カルミニャック・ファンド Aコース	2.35%	1.55%

課題認識

- 野村カルミニャック・ファンド Bコース、および野村カルミニャック・ファンド Aコースは、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村カルミニャック・ファンド Bコース、および野村カルミニャック・ファンド Aコースは、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

グローバルESGバランスファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
218	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジなし）年2回決算型	Y	G	G	
219	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジなし）隔月分配型	—	G	G	
220	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）年2回決算型	—	G	G	
221	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）隔月分配型	—	Y	G	

戦略の概要

- 世界各国（新興国を含みます。）の株式、先進国の企業（金融機関を含みます。）が発行する米ドル建ての社債等、米ドル建ての新興国債等、世界各国（新興国を含みます。）の不動産関連有価証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目的に運用を行うことを基本とします。
- ESGの観点から投資する銘柄を決定します。
- 運用にあたっては、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメン・インク（ACI）に運用の指図に関する権限の一部を委託します。

課題認識

- 【運用実績】
 - 競合ファンドと比べて株式比率が低いこと、世界各国の小型株に投資するファンドのパフォーマンスが大型株主導の市場環境で振るわなかったことがパフォーマンスの劣後要因となりました。
- 【商品性】
 - グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）隔月分配型は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	—	—

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	—	—	★★
	Japan Fund Moderately Aggressive Allocation			
Fundmark	☆☆☆	—	—	
	マルチアセット/バランス/株式組入低位/原則ヘッジなし			

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
221	グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）隔月分配型	1.87%	1.24%

ファンドの投資リスク、費用等については、上記のリンクから当社ホームページにアクセスの上ご確認ください。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 【運用実績】
 - これまで市場上昇を牽引した大型銘柄と比較して小型株のバリュエーションは割安な水準にあり、市場環境の変化に注視しながら株式への投資比率は概ね維持しつつ、パフォーマンスをモニタリングしてまいります。
- 【商品性】
 - グローバルESGバランスファンド（為替ヘッジあり）隔月分配型については、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

ノムラ・オールインワン・ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
223	ノムラ・オールインワン・ファンド	Y	Y	G	

戦略の概要

- 株式、債券、代替資産※1、代替手法※2を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とし、インカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目的として運用を行います。

※1 株式、債券などとは異なるリスク・リターン特性をもつ不動産や商品などの資産のことで、REIT（不動産投資信託）などの証券化商品も含まれます。

※2 株式や債券の売り持ちや先物・オプションなどのデリバティブ（金融派生商品）等も活用し、市場の動向に左右されにくい投資成果を目指す投資戦略のことをいいます。一般的に、代替手法には、株式、債券などの資産を投資対象とするものに加え、商品などを投資対象とするものが含まれることがあります。
- 野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（NFRC）が投資信託証券の評価等をし、運用に関する助言を行います。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	中位	下位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★★	★★★★
	Japan Fund Aggressive Allocation			
Fundmark	☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆	
	マルチアセット/バランス/株式組入低位/原則ヘッジなし			

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
223	ノムラ・オールインワン・ファンド	2.02%	1.24%

課題認識

【運用実績】

- 当ファンドは多岐にわたる資産クラスを投資対象とし、各資産で運用実績のある複数のファンドへ投資を行います。株式市場が堅調、マクロ環境が不安定な中、配分比率のうち約半分を占める代替手法や代替資産が相対的に劣後しました。
- 株式ファンドのうち国内小型株式や先進国株式を組み入れるファンドが相対的に劣後したこともパフォーマンス悪化の一因となり、競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。

【商品性】

- ノムラ・オールインワン・ファンドは、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

【運用実績】

- 引き続き当ファンドの特性（多彩な資産クラスに投資する）を維持しながら、各資産クラスにおける投資対象ファンドの見直しや拡充を行うことで、パフォーマンス改善に向けた取り組みを実施してまいります。

【商品性】

- ノムラ・オールインワン・ファンドは、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

ノムラ・グローバル・オールスターズ

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
224	ノムラ・グローバル・オールスターズ	G	Y	G	

戦略の概要

- 日本、先進国、新興国の各株式、日本、米国、欧州、豪州、新興国の各債券、ハイ・イールド債、および世界の不動産投資信託証券（REIT）の10の資産を主要投資対象とします。
- 10の資産への投資にあたっては、概ね均等（各10%程度を基本投資割合とします。）に行い、インカムゲインと中長期的な値上がり益の獲得によるトータル・リターンの追求を目指して運用を行います。
- 資産毎に、運用において優れていると判断した投資信託証券を1つもしくは少数選定し、分散投資を行います。
- 投資する投資信託証券の選定、見直し、投資比率の決定にあたっては、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）からの助言を受けます。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
224	ノムラ・グローバル・オールスターズ	1.78%	1.24%

課題認識

- ノムラ・グローバル・オールスターズは、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- ノムラ・グローバル・オールスターズは、経費率が役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。

ハッピーライフファンド・株50

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
225	ハッピーライフファンド・株50	Y	G	G	
226	マイストーリー・株50	—	G	G	
227	マイストーリー・株50（確定拠出年金向け）	—	G	G	

戦略の概要

- 国内の株式を投資対象とする投資信託証券、世界の株式を投資対象とする投資信託証券、国内の債券を投資対象とする投資信託証券および世界の債券を投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目的として中長期的に安定運用を行います。
- 投資信託証券への投資を通じて実質的に保有する株式への配分比率が信託財産の純資産総額の概ね50%程度となることを目指します。
- 野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社（NFRC）が投資信託証券の評価等をし、運用に関する助言を行います。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位

外部レーティング（評価基準日：2025年3月末）

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★	★★
	Japan Fund Moderately Conservative Allocation			
Fundmark	—	—	—	
	マルチアセット/バランス/株式組入中位/フルヘッジ			

課題認識

- 主として国内外の株式に50%、債券に50%の基本配分をもとに運用で実績のあるファンドの組入れを行っています。主に外国資産に対して為替ヘッジを行っていることにより、円安がプラスに作用する他の競合ファンド比でのパフォーマンスが劣後しました。
- 国内株式が外国株式に劣後した環境において国内株式を外国株式よりも多く配分したこと、外国株式での組入ファンドが苦戦したことなどもパフォーマンス悪化の一因となり、競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 当ファンドの特性（安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長）を維持しながら、各資産クラスにおける投資対象ファンドの見直しや拡充を行います。また、事後的に各段階の効果を計測するなど、より客観的・定量的な枠組みの中でNFRCのファンドリサーチを活かしながらポートフォリオに統合していくプロセスとすることでパフォーマンス改善に向けた取り組みを実施してまいります。

マイストリー・株25

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
228	マイストリー・株25	Y	G	G	
229	マイストリー・株25 (確定拠出年金向け)	—	G	G	
230	ハッピーライフファンド・株25	—	G	G	

戦略の概要

- 国内の株式を投資対象とする投資信託証券、世界の株式を投資対象とする投資信託証券、国内の債券を投資対象とする投資信託証券および世界の債券を投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目的として中長期的に安定運用を行います。
- 投資信託証券への投資を通じて実質的に保有する株式への配分比率が信託財産の純資産総額の概ね25%程度となることを目指します。
- 野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社 (NFRC) が投資信託証券の評価等をし、運用に関する助言を行います。

評価の根拠

競合比較

3年	5年	10年
下位	下位	下位

外部レーティング (評価基準日: 2025年3月末)

評価機関	3年	5年	10年	総合
Morningstar	★★	★★	★★	★★
	Japan Fund Conservative Allocation			
Fundmark	—	—	—	
	マルチアセット/バランス/株式組入低位/フルヘッジ			

課題認識

- 主として国内外の株式に25%、債券に75%の基本配分をもとに運用で実績のあるファンドの組入れを行っています。主に外国資産に対して為替ヘッジを行っていることにより、円安がプラスに作用する他の競合ファンド比でのパフォーマンスが劣後しました。
- 国内株式が外国株式に劣後した環境において国内株式を外国株式よりも多く配分したこと、外国株式での組入ファンドが苦戦したことなどもパフォーマンス悪化の一因となり、競合ファンドに対してパフォーマンスが劣後しました。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 当ファンドの特性（安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長）を維持しながら、各資産クラスにおける投資対象ファンドの見直しや拡充を行います。また、事後的に各段階の効果を計測するなど、より客観的・定量的な枠組みの中でNFRCのファンドリサーチを活かしながらポートフォリオに統合していくプロセスとすることでパフォーマンス改善に向けた取り組みを実施してまいります。

野村PIMCO・トレンド戦略ファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
241	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース	NR	G	G	
242	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース	—	G	G	
243	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド（米ドル売り円買い）（野村SMA・EW向け）	—	Y	G	

戦略の概要

- 世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券、金利、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を主要取引対象とし、世界各国（新興国を含みます。）の債券等を主要投資対象とします。
- 定量モデルの活用によって、各市場の上昇トレンドならびに下降トレンドを判断し、資産配分比率を決定します。各市場における取引対象を買い持ち（ロング）または売り持ち（ショート）するポジションを構築し、各市場の上昇トレンドならびに下降トレンドに追随することで絶対収益の獲得を目指します。
※絶対収益とは、特定の市場等の動きに対する超過収益ではなく、投資元本に対しての収益を意味します。また「絶対に収益が得られる」という意味ではありません。
- パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー（PIMCO）が実質的な運用を行います。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
243	野村PIMCO・トレンド戦略ファンド（米ドル売り円買い）（野村SMA・EW向け）	1.62%	0.85%

課題認識

- 野村PIMCO・トレンド戦略ファンド（米ドル売り円買い）（野村SMA・EW向け）は、経費率が同類ファンドと比較して、その中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村PIMCO・トレンド戦略ファンド（米ドル売り円買い）（野村SMA・EW向け）については、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

野村ブルーベイ・トータルリターンファンド

(評価基準日: 2025年3月末)

No	ファンド名	運用実績	商品性	情報提供	当社HP
245	野村ブルーベイ・トータルリターンファンド（野村SMA・EW向け）	NR	Y	G	

戦略の概要

- 新興国を含む世界各国の投資適格格付債券※を実質的な主要投資対象とします。
※債券の投資適格格付は、ムーディーズ社もしくはS&P社、またはその他の格付機関による投資適格格付（BBB-相当格）以上とします。
- デリバティブ取引および為替予約取引等を活用することで、ユーロの短期金利水準を上回る収益の獲得を目指す運用を行います。
- 買い建てによるロング・ポジションだけでなく売り建てによるショート・ポジションを組み合わせ、ポートフォリオの構築を行います。
- RBC グローバル・アセット・マネジメント（UK）リミテッドが実質的な運用を行います。

評価の根拠

経費率

No	ファンド名	経費率	中央値
245	野村ブルーベイ・トータルリターンファンド（野村SMA・EW向け）	2.84%	0.85%

課題認識

- 野村ブルーベイ・トータルリターンファンド（野村SMA・EW向け）は、実質的に投資を行っているデリバティブ取引の支払利息が経費率に含まれていることなどから、同類ファンドと比較して経費率とその中央値を大きく超過しています。

対応方針/改善に向けた取り組み

- 野村ブルーベイ・トータルリターンファンド（野村SMA・EW向け）は、経費率が役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。

当資料で使用した指数および指数の著作権について

- **東証株価指数（TOPIX）（配当込み）**

指数の著作権について：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値及びこれらの指数に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など関連するすべての権利・ノウハウ及び指数に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、これらの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

- **日経平均株価（日経225）、日経平均トータルリターン・インデックス**

指数の著作権について：「日経平均株価（日経225）」「日経平均トータルリターン・インデックス」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経平均株価の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

- **Russell/Nomura Small Cap Growthインデックス、Russell/Nomura Total Market Growth インデックス**

指数の著作権について：Russell/Nomura Small Cap Growthインデックス及びRussell/Nomura Total Market Growth インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーは、これらのインデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、これらのインデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

- **MSCIインド・インデックス、MSCI All Country World Energy & Materials**

指数の著作権について：MSCIインド・インデックスおよびMSCI All Country World Energy & Materialsは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- **NOMURA-BPI総合、NOMURA-BPI国債**

指数の著作権について：NOMURA-BPI総合及びNOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

- **ブルームバーグ米国ハイイールド社債高流動性インデックス**

指数の著作権について：「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

Fundmarkレーティングについて

Fundmarkレーティングはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。Fundmarkレーティングは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。Fundmarkレーティングのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、いかなる目的であれ、電子的、機械的、光学的、その他のいかなる手段によっても、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。株式会社野村総合研究所は、Fundmarkレーティングの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmarkレーティングの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

Morningstar Ratingsについて

©2025 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1) Morningstarおよび/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複写または配布は禁止されており、また(3)正確性、完全性及び適時性のいずれも保証するものではなく、また(4) 投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstarおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

※2025年3月末時点の総合的なMorningstarレーティング

※各ファンドの総合的なMorningstarレーティングは、3年、5年、および10年のMorningstarレーティングの加重平均から導き出されます。Morningstarレーティングは過去の運用実績に基づいた評価であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料について

- 当資料は、ファンド・レビューの内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 投資勧誘を目的とした資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。
- 当資料の内容は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆しないし保証するものではありません。

お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

TEL(03)6387-5000(大代表)

NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 373 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会